

令和3年度

福岡県ひきこもり対策推進事業報告書



福岡県ひきこもり地域支援センター
(福岡県精神保健福祉センター内)

目 次

I	はじめに	1
II	令和3年度福岡県ひきこもり対策推進事業の概要	2
III	令和3年度の事業実績	
1	相談支援	3
2	人材育成事業	6
	(1) ひきこもり支援者研修会	
	(2) サポーター養成事業	
3	ネットワークの構築	9
	(1) ひきこもり支援者等地域ネットワーク会議	
	(2) ひきこもり地域支援センター実務者連絡会議	
	(3) ひきこもり対策連絡調整会議	
	(4) 関係会議への出席	
4	ひきこもり本人・家族への支援	12
	(1) フリースペース	
	(2) 家族のつどい	
5	情報発信	14
6	普及啓発	15
IV	参考資料	16

I はじめに

関係機関の皆さまにおかれましては、日頃から当センターのひきこもり対策推進事業の円滑な遂行に御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、内閣府が令和元年度に発表したひきこもりに関する調査結果では、自宅に半年以上閉じこもっている15歳から64歳までのひきこもりの状態にある方は、全国で推計100万人以上といわれています。この調査結果から本県のひきこもりの状態にある方を推計すると4万人以上に上ります。

国のひきこもり対策としては、平成21年度から実施されている「ひきこもり対策推進事業」により「ひきこもり地域支援センター」の各都道府県・指定都市への設置が推進され、令和4年4月時点で79か所設置されています。

また、平成25年度からは、ひきこもりの状態にある本人やその家族に対するきめ細かく継続的な相談支援や早期の把握を目的として「ひきこもりサポーター養成研修事業」と「ひきこもりサポーター派遣事業」が開始されました。

さらに、平成27年4月には生活困窮者自立支援法が施行され、ひきこもり対策はこの制度に組み込まれ、これまで第一次相談窓口であった当センターには、より専門的対応を行う機能が求められるとともに、関係機関のネットワーク構築を促進していくことが明確に示されました。

また、国は令和元年度に就職氷河期世代の支援を推進することを打ち出し、この中でもひきこもりの状態にある方に対する一層のきめ細かな支援が必要とされました。

現在、住民に身近な市町村でも相談体制づくりを進め、支援を強化していく方針が示されており、今後、当センターと保健所、市町村がより一層連携を強化し、支援を充実させていくことが必要です。

福岡県では、ひきこもり地域支援センターを平成22年6月に当センター内に設置し、12年が経過しました。令和2年7月には、身近な地域で相談に対応し、市町村への専門的助言や地域のネットワーク構築を促進するため、ひきこもり地域支援センターサテライトオフィスを筑後と筑豊の2か所に設置しました。その結果、令和3年度の相談延件数は約4,680件と大幅に増加しています。また、保健所圏域毎のネットワーク会議やひきこもりの支援者に対して研修会を開催するなど、より一層、支援の輪が広がるよう努めているところです。

ここに、同事業の実施状況を取りまとめた、令和3年度ひきこもり対策推進事業報告書を作成しましたので、ひきこもりの状態にある方に対する支援の参考になれば幸いです。

令和4年9月

福岡県精神保健福祉センター
所長 楯林 英晴

Ⅱ 令和3年度福岡県ひきこもり対策推進事業の概要

方針

ひきこもりに関する悩みを抱える方や家族を、関係機関と連携し継続的に支援するとともに、身近な市町村で相談や支援を受けることできる体制を整備する。

概要

1 相談支援

電話、来所相談、オンライン、訪問・同行支援により、ひきこもりの状態にある本人やその家族、関係機関からの相談に対応し、適切な支援に繋げた。また、①フリースペース、②家族のつどいを実施し継続的に支援を行った。

今年度は、新たにアウトリーチ支援の強化とサテライトオフィスによる市町村でのひきこもり相談会を行った。

2 人材育成

ひきこもりの相談や訪問支援に対応できる人材を育成するため研修会の実施、ひきこもりの状態にある本人やその家族を支え、身近な理解者となっただけのひきこもりサポーターの養成研修を行った。今年度は特に、研修の内容と時間を大幅に増やし充実を図った。

3 ネットワークの構築

関係機関の連携強化のために ①ひきこもり支援者地域ネットワーク会議 ②ひきこもり地域支援センター実務者連絡会議 ③ひきこもり対策連絡調整会議を実施した。

今年度は、新たにネットワーク会議の中で事例検討を行い、活発な協議を行った。

4 ひきこもりの状態にある本人・家族への支援

ひきこもりの状態にある本人に対する支援として、居場所としてのフリースペースを定例的に実施した。

また、家族相互の支え合いや交流、家族としての対応を学ぶための家族のつどいを開催した。

5 情報発信

ひきこもりへの理解を深め、必要な方へ支援を届けるため、①リーフレット等の配布、②HP掲載等の広報活動、③出前講座、④ガイドブックの改訂を実施した。

6 普及啓発

市町村や関係機関からの依頼に応じて、ひきこもりに関する講話やひきこもり地域支援センターの周知を行った。また、ホームページでの普及啓発の充実やPR動画の配信を行った。

Ⅲ 令和3年度の事業実績

1 相談支援

【目的】

ひきこもりの状態にある本人や家族、関係機関からの相談に対し、専門的に助言を行い、対象者への相談内容に応じて、適切な関係機関へとつなぐ。また、関係機関と情報交換を行うなど、対象者への支援の状況を把握するとともに、適切な支援方法について検討を行う。

【事業内容】

- ① 電話相談事業
月～金曜日 9時～17時15分(祝日及び年末年始を除く)
- ② 来所相談事業
月～金曜日 9時30分～16時20分(予約制) 面接はおおむね1時間程度
- ③ 訪問・同行支援
必要に応じて家庭訪問を行い、事例に応じて関係機関への同行支援や当事者の興味がある活動等への同行等を実施。関係機関と連携して訪問等を行う。
- ④ オンライン相談
令和2年11月から開始。来所相談をされたことがある方を対象として、希望者に実施

【実績】

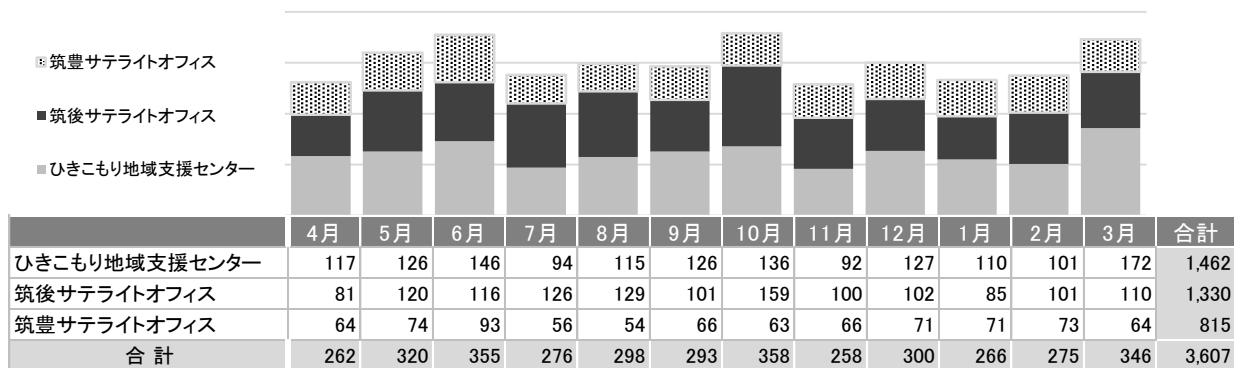
電話相談・来所相談・訪問同行の月別延件数は、次ページに掲載。

過去の相談状況については巻末に掲載。

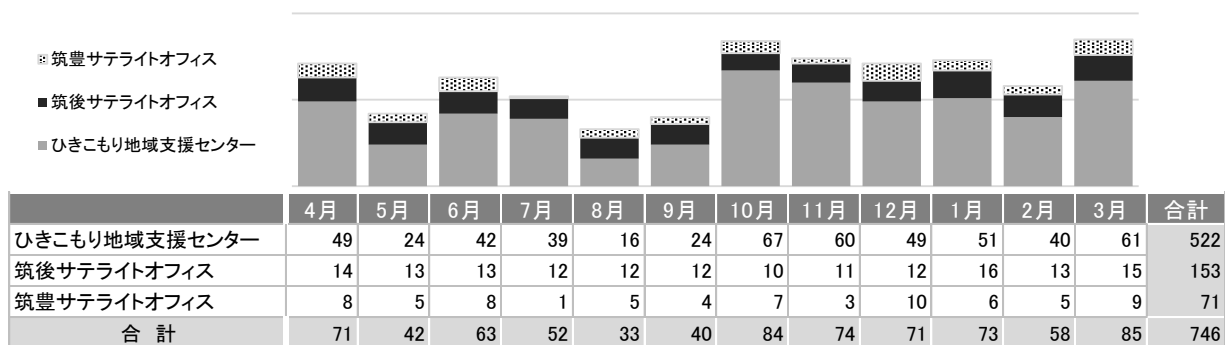
令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大時期には来所者数が減少したものの、電話、来所、訪問・同行の件数は12月時点で昨年度の来所者合計を上回り、相談件数は増加傾向だった。特に、訪問・同行などのアウトリーチは、市町村等の窓口で相談を受けたり、相談者の利便性や相談のしやすさを考えて、居住地の近くに出向いて相談等も行ったことから、大幅に件数が伸びた。自ら支援を求めることが難しい方や潜在的な相談者に早期に関わりを持つためにアウトリーチは重要であるため、今後も積極的に取り組んでいきたい。

(1)相談件数の内訳

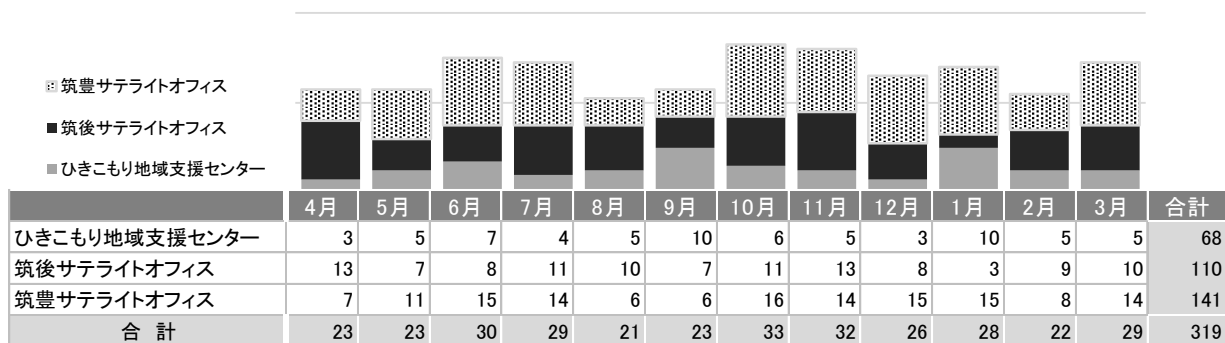
①電話相談 延件数



②来所相談 延件数



③訪問・同行 延件数



④オンライン相談 延件数

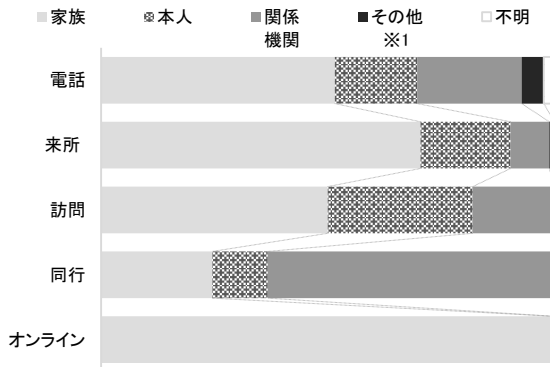
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ひきこもり地域支援センター	1	2	0	1	0	1	1	0	1	0	1	0	8
筑後サテライトオフィス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
筑豊サテライトオフィス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	1	2	0	1	0	1	1	0	1	0	1	0	8

遠方に居住している等の理由でオンラインを希望される方がおり、来所の困難さを解消する相談手段になっている。

オンラインを利用しない理由としては、インターネットができる環境がない、機器の操作に不安があるという意見もあったことから、相談者が相談方法を選択できるよう、今後も取り組んでいきたい。

(2)相談の内訳

①相談者の内訳(実件数)



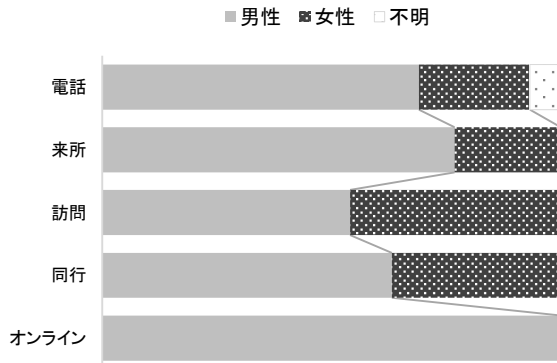
	家族	本人	関係機関	その他※1	不明	計
電話	315	111	141	30	14	611
来所	198	56	24	3	0	281
訪問	39	25	14	0	0	78
同行	40	20	102	1	0	163
オンライン	3	0	0	0	0	3
計	595	212	281	34	14	1,136

※2

※1 内訳:親類、友人、知人等からの相談

※2 複数人の来所や対応により、来所実数と異なる

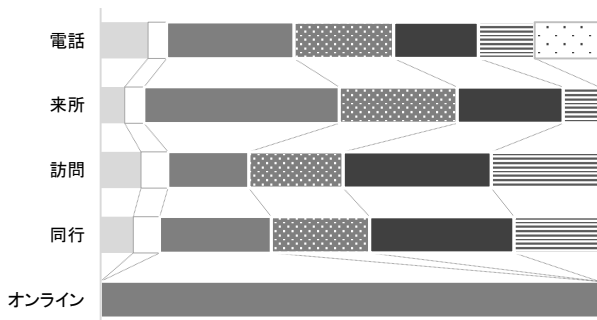
②ひきこもり本人の性別(実件数)



	男性	女性	不明	計
電話	422	148	41	611
来所	159	48	0	207
訪問	20	17	0	37
同行	48	28	0	76
オンライン	2	0	0	2
計	651	241	41	933

③ひきこもり本人の年代(実件数)

■18歳未満 □18歳以上 20歳未満 ■20代 ■30代 ■40代 ■50歳以上 □不明



	18歳未満	18歳以上 20歳未満	20代	30代	40代	50歳以上	不明	計
電話	58	23	156	122	104	69	79	611
来所	10	8	81	49	44	15	0	207
訪問	3	2	6	7	11	8	0	37
同行	5	4	17	15	22	13	0	76
オンライン	0	0	2	0	0	0	0	2
計	76	37	262	193	181	105	79	933

2 人材育成事業

(1)ひきこもり支援者研修会

【目的】

市町村をはじめとした、ひきこもりの相談や訪問支援に対応できる人材を育成するとともに、支援者としての資質の向上を図る。

【対象】

市町村、自立相談支援機関、社会福祉協議会、地域包括支援センター、保健福祉(環境)事務所、福祉・労働・教育機関等においてひきこもり支援に関わる者

【内容】

- ①「福岡県のひきこもり対策について」
講師：福岡県精神保健福祉センター社会復帰課
- ②「ひきこもりの家族支援について」
講師：山口大学大学院医学系研究科保健学専攻 山根俊恵 教授

【実績】

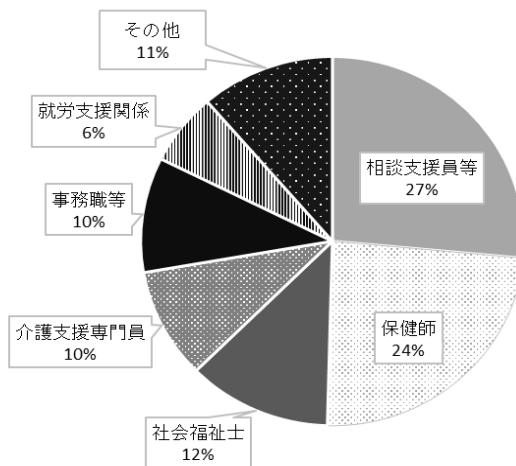
14:00～16:00

234名(オンライン217名、対面17名)

※ オンライン参加者は、申込者数(欠席の連絡があった者を除く)で集計

【申込者の内訳】

【職種別内訳】

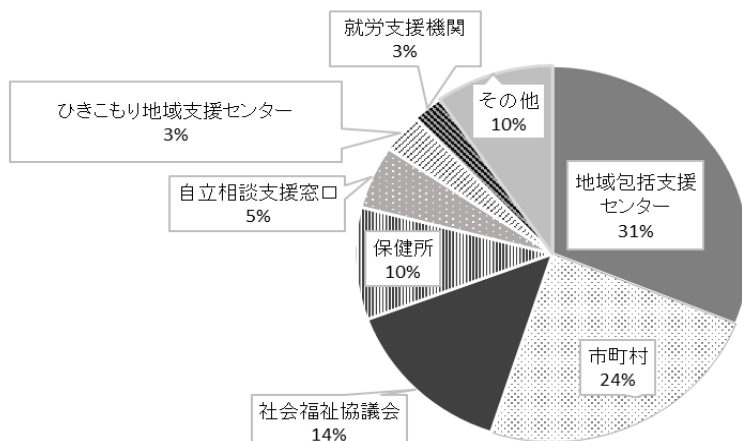


その他の内訳

- ・医療職 3%
- ・心理職 1%
- ・精神保健福祉士 1%
- ・その他 1%
- ・不明 6%

(小数点以下第1位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100%とはならない)

【所属別内訳】



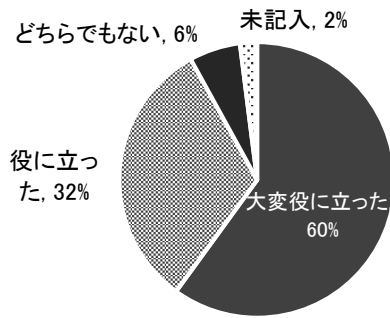
その他の内訳

- ・民間支援団体 2%
- ・発達障害者支援センター 2%
- ・基幹相談支援事業所 1%
- ・児童相談所 1%
- ・その他 3%

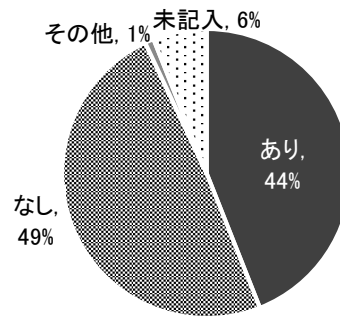
(小数点以下第1位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100%とはならない)

【アンケート結果】

<講演の内容に関して>



<ひきこもり支援歴>



<自由記載>

研修会全体を通しての意見や感想（一部抜粋）

所属	意見や感想
市町村	<ul style="list-style-type: none"> 事例を用いて支援のあり方について学ぶことができ、分かりやすかった。 今まで連携のために様々な機関に繋ぐことがあったが、相談者から見るとたらい回しに感じるがあったことを痛感した。
地域包括支援センター	<ul style="list-style-type: none"> 対象者の家族まで手が回らないことが多いが、家族の支援が大切だと分かった。 ケアマネとして何が出来るか、考えていきたい。 高齢者の分野では発達障害を勉強している人が少ないのも課題。
社会福祉協議会	<ul style="list-style-type: none"> 本人、親への支援を仕掛けて待つ、ということが非常にためになった。 山根先生の経験に基づいたお話が分かりやすく、説得力があったと感じた。
自立相談支援機関	<ul style="list-style-type: none"> 「行動には意味がある」「苦しいことは言語化できない」ことを改めて心に刻んだ。 発達障害や不登校の子ども達への対応の大切さが分かった。義務教育終了後や高校中退後、家にひきこもる可能性もあるので、送迎ができる就労準備支援事業で支援をすることもある。 居場所が必要。
保健所	ひきこもりや暴力などの問題に目を向けるのではなく、その背景にある「悩み」、 「苦しみ」を理解することが大切。

ひきこもり支援の望ましい在り方について（一部抜粋）

所属	意見や感想
市町村	<ul style="list-style-type: none"> 生活保護担当としては、自立を考え就労を目指すハードルが高いことが分かった。スモールステップで進めていこうと思った。 親ではなく本人の希望を聞いていくこと。親の生活を大切にすること。家族を支援すること。
地域包括支援センター	<ul style="list-style-type: none"> 発達障害の理解が大切と感じた。家庭内で悪循環にならないように早期の支援があるとよい。 正しく病院を受診することも大切と感じた。ひきこもりの知識を得られる機会も増えたほうが良い。 小さいころからの性格や生活はなかなか変わらない。親の良き理解者になりたいと感じた。
社会福祉協議会	<ul style="list-style-type: none"> 認知症は広くサポーターを養成している。ひきこもりも同じようにみんなに知ってもらうことが大切。 地域の理解者を増やす。 家庭に関わる人材が必要。
保健所	<ul style="list-style-type: none"> 同じ担当が継続して支援できる環境があったらいいと思うが、行政には限界がある。 医療（訪問看護など）もひきこもりの支援ができると良いと感じた。
その他	<ul style="list-style-type: none"> 家族や当事者が困ったとき、連絡をしてくれるような存在でありたい。 家族や支援機関と連携を密にして、焦らず待つ姿勢が大切である。

(2)サポーター養成事業

【目的】

ひきこもりについての理解を深め、より身近な地域でひきこもりの状態にある本人やその家族に早期に気づき、見守りや適切な支援につなぐ等の支援が出来る人材を育成し、地域においてひきこもりに対する理解を促進することを目的とする。

令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策として中止したが、今年度はWEB開催とし、全4回で実施した。

【対象者】

- ・ひきこもりの経験者やその家族、ひきこもり支援に関心のある方
- ・福岡県在住の18歳以上の方
- ・全日程を受講できる方

【内容】全日オンライン研修 13:30～16:30

内容		講師
第1回 (11/2)	講話「ひきこもりの基本的理解」	精神保健福祉センター医師
	説明「ひきこもり施策について」	こころの健康づくり推進室
	グループディスカッション 質疑応答・まとめ	文化教育研究所 代表 長阿彌 幹生 氏
第2回 (11/16)	講話「ひきこもりの基本姿勢（その1：聴く）」	長阿彌幹生 氏
	講話「対話による支援」	一般社団法人メンタルケア協会 精神対話士
	グループディスカッション 質疑応答・まとめ	長阿彌 幹生 氏
第3回 (11/30)	講話「ひきこもりの基本姿勢 （その2：受け止める）」	長阿彌 幹生 氏
	当事者と講師との対談（体験発表）	ひきこもり当事者と長阿彌氏
	グループディスカッション 質疑応答・まとめ	長阿彌 幹生 氏
第4回 (12/14)	講話「ひきこもりの基本姿勢 （その3：支える・つなげる）」	長阿彌 幹生 氏
	グループディスカッション 質疑応答・4回のまとめ	

【受講者数】

18名(全日程受講とならなかった方も含む)

受講者内訳	参加者数
家族	2名
支援者	5名
一般	3名
関係機関	8名
当事者	0名

【令和3年度研修受講による登録者数】 8名

【福岡県ひきこもりサポーター登録数】 24名 ※令和3年度末現在

【受講者の感想】

- ・WEB 開催は移動時間が削減でき、受講しやすさはあったが、講師や他の受講者と会ってお話をしたかった。
- ・全4回の講話はゆっくり丁寧に進み、理解しやすかった。研修の回数はちょうど良かった。
- ・当事者の方と講師の対談の聴講はとても貴重な機会になった。WEB でのグループ討議は、相手の反応が分かりづらさがあった。
- ・定期的にフォーアアップ講座があれば良いと思う。
- ・多くの学びと多くの気づきがあった。

3 ネットワークの構築

(1) ひきこもり支援者等地域ネットワーク会議

【目的】

ひきこもりの長期化や高齢化等を踏まえ、関係機関が連携を図り、支援関係機関の従事者が支援に必要な知識、技術を習得することで、ひきこもり支援の質の向上を図る。

【対象】

市町村、地域包括支援センター、自立相談支援機関、若者サポートステーション、基幹相談支援センター、社会福祉協議会、保健福祉環境事務所等においてひきこもり支援に関わる職員

【時間及び会場】

13:00～15:30

各保健福祉(環境)事務所 ※糸島のみオンライン開催

【内容】

①講話「本県のひきこもり対策について」

講師:福岡県保健医療介護部健康増進課こころの健康づくり推進室

②事例検討「地域の困難事例」(市町村等のひきこもり支援者からの事例報告)

※事例検討の司会進行を地域の支援者が務めた。各所の司会進行は以下のとおり。

保健所	日程	司会進行	事例発表者(所属のみ)
筑紫	R3年11月1日	久留米大学 門田 光司 教授	筑紫野市地域包括支援センター
粕屋	R3年11月29日	久留米大学 門田 光司 教授	福岡県ひきこもり地域支援センター
糸島	R4年1月20日	可也病院 宮崎 聡 氏	糸島市福祉の総合相談窓口
宗像・遠賀	R3年11月12日	久留米大学 門田 光司 教授	福津市地域包括支援センター
嘉穂・鞍手	R3年12月9日	飯塚・嘉麻・桂川障がい者基幹相談支援センター長 藤嶋 勇治 氏	筑豊サテライトオフィス
田川	R3年12月16日	福岡県立大学 四戸 智昭 准教授	田川保健福祉事務所
京築	R3年10月8日	行橋市生活困窮者自立相談事業所 西 賢治 氏	行橋障害者等基幹相談支援センター
北筑後	R3年10月29日	うきは市社会福祉協議会 権藤 俊介 氏	甘木・秋月地域包括支援センター
南筑後	R3年10月26日	八女市社会福祉協議会 野田 智史 氏	八女地域包括支援センター

【参加者】

保健所	日程	(参加者の内訳)									備考
		参加者数	市町村	自立相談支援機関	保健所	社会福祉協議会	若者サポートステーション	基幹相談支援センター	地域包括支援センター	その他	
筑紫	11月1日	17	7	0	1	1	1	1	5	1	
粕屋	11月29日	17	7	0	3	3	0	0	4	0	
糸島	1月20日	16	4	1	0	1	1	0	5	4	オンライン開催
宗像・遠賀	11月12日	20	6	2	2	1	1	1	7	0	
嘉穂・鞍手	12月9日	22	3	4	2	3	0	2	7	1	
田川	12月16日	19	2	1	2	2	0	2	7	3	
京築	10月8日	27	7	2	3	6	1	3	3	2	
北筑後	10月29日	25	8	2	5	0	0	5	4	1	
南筑後	10月26日	28	9	3	2	3	0	3	6	2	
合計		191	53	15	20	20	4	17	48	14	

【意見交換の主な内容】

① ひきこもり支援において困難に感じたこと

- ・本人に会えない。本人の意向を聞くことが出来ない。困り感がない。(多くの参加者からの意見)
- ・長期のひきこもりの場合、長期に関わっても変化がないので、焦りを感じこれでよいのかと悩む。
- ・ひきこもりにネガティブなイメージがある。
- ・「自分はひきこもりではない」と反発される。
- ・家族が本人への支援を望んでいない。家族の中でも意見が違う。
- ・家族が焦って本人が追いつめられているように感じたことがあり、家族への支援が必要。
- ・明らかに精神症状があるが、受診を家族も望んでいない。医療に繋げるための見立てが難しい。

② ひきこもり支援の中で連携をとるために必要なこと

- ・どこの機関が中心となって動くのか、各機関の役割分担をはっきりとした方が良い。
- ・情報提供や情報共有を出来る関係性。
- ・定期的な関係機関間の会議の開催。情報を集約し、優先順位を付ける。
- ・解決しなくても関わっていける関係作り。困ったときに相談できる関係機関間の関係作り。
- ・支援を依頼されたときに断らない。自分たちの機関で出来ることを考えの押し付け合いをしない。
- ・本人や家族に関する情報収集。
- ・継続とあきらめない気持ち。本人の心を開くキーパーソンがいると良い。

③ 意見・感想

- ・関係機関で集まったの研修を今後も行ってほしいと感じた。
- ・グループワークで話しやすかった。様々な機関の色々な意見が聞けて良かった。
- ・一機関だけの関りは難しいと感じた。
- ・ひきこもりの事例集などがあると良いと思った。
- ・報告された事例の情報が少なく、ひきこもり支援の難しさを感じた。

(2) ひきこもり地域支援センター実務者連絡会議

【目的】

県内のひきこもり地域支援センターの実務者が各センターの取組状況及び課題等に関する意見及び情報交換を行うことで、各センターの取組の充実を図る。

【参加者】

北九州市、福岡市及び福岡県のひきこもり地域支援センターの担当職員、ひきこもり支援コーディネーター

【日時及び場所】

令和3年6月8日(月)14:00～16:00 オンライン開催

【内容】

コロナ禍における相談支援の取組、オンラインの活用、巡回相談の実施、8050問題等についての情報、意見交換

(3) ひきこもり対策連絡調整会議

【目的】

ひきこもりに関する取組について、医療・福祉・教育・労働等の関係者と情報交換及び意見交換を行うことで、各機関間で恒常的な連携を確保し、ひきこもり対策の充実を図る。

【日時及び場所】

令和4年2月10日(木)15:00～16:30

精神保健福祉センター研修室 ※オンラインで開催

【内容】

- ① 報告「本県のひきこもり対策について」
 - ・福岡県ひきこもり地域支援センターの取組について(福岡県精神保健福祉センター)
 - ・就職氷河期世代活躍支援について(福岡県労働福祉部 労働政策課)
 - ・自立相談支援機関の取組について(福岡県労働福祉部 保護・援護課)
 - ・若者自立相談支援窓口の取組(福岡県若者自立相談窓口)
- ② 意見交換 等

(4) 関係会議への出席

他機関が実施する会議に出席し、各機関の役割、課題等を情報共有し、地域の関係者との連携を図った。

開催日	会議名	主催
令和3年7月2日	福岡県若者自立支援機関連携会議	福岡若者サポートステーション
令和3年7月5日	宗像地域若者自立支援関係機関会議	福岡若者サポートステーション
令和3年11月18日	中間・遠賀圏域若者自立支援機関会議	北九州若者サポートステーション
令和3年11月25日	行橋圏域若者自立支援機関会議	北九州若者サポートステーション
令和3年12月15日	筑豊地区若者自立支援機関連携会議	筑豊若者サポートステーション
令和4年3月25日	福岡県子ども・若者支援地域協議会 実務者連携会議(筑紫地区)	青少年育成課

4 ひきこもり本人・家族への支援

(1)フリースペース

【目的】

ひきこもり状態にある本人を対象に、家庭以外に安心して過ごせる場所を確保し、家族以外の人との関わりや様々な体験ができる場を提供する。

【開催日時】

毎月第 2、4 水曜日 14:00～16:00

【実績】

5 月、6 月、8 月及び 9 月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。新型コロナウイルス感染症の影響で参加が少ない日もあったが、平均 4 名程度が参加した。昨年度からプログラム(読書会、料理実習、散歩等)を企画し、予定表の作成やホームページへの掲載をしていることや居心地のよい空間づくりの取組が、参加者の増加につながっていると思われる。

週	4月		5月	6月		7月		8月	9月	10月		11月		12月		1月		2月		3月		計
	第2	第4	中止	第2	第4	第2	第4	中止	中止	第2	第4	第2	第4	第2	第4	第2	第4	第2	第4	第2	第4	
男性	3	1	/	/	2	1	2	/	/	1	4	2	5	4	3	4	4	4	4	3	2	49
女性	2	2	/	/	2	1	2	/	/	2	2	1	1	1	2	0	1	1	1	0	2	23
計	5	3	0	0	4	2	4	0	0	3	6	3	6	5	5	4	5	5	5	3	4	72

(2)家族のつどい

【目的】

家族がひきこもりに対する正しい知識を学ぶとともに、家族同士の分かち合いの場を提供する。

【開催日時】

毎月第 3 金曜日 14:00～16:00

【プログラム内容】

開催日	内 容
4月16日	新スタッフの紹介・1年間の計画説明・懇親会
5月21日	*中止(講話予定:ひきこもりの基礎知識・社会資源について)
6月25日	講話:ひきこもりの基礎知識・社会資源について
7月16日	医師講話:ひきこもりの基礎知識と対応について
8月20日	ひきこもり対応のヒント(1)～声のかけ方・会話のポイント
9月17日	九州大学病院 加藤隆弘先生による講話(10時～12時)
10月15日	九州大学病院 加藤隆弘先生による講話 ※13時～15時
11月19日	ひきこもり対応のヒント～声のかけ方・会話のポイント
12月17日	当事者からのメッセージ
1月21日	ひきこもり対応のヒント(2)～KHJ『楠の会』吉村氏を囲んで～
2月18日	ひきこもり対応のヒント(3)
3月18日	「ひきこもり状態の方のご家族が一步ずつ前に進むためにできること」 山口大学大学院 山根 俊恵 教授による講話

【実績】

5月、8月及び9月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。つどいの前半は「対応や知識を学ぶ時間」、後半は「参加者のフリートーク」という形式で実施した。

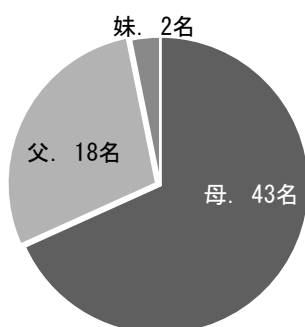
10月及び3月の外部講師を招いた勉強会は関心も高く参加者が多くなった。希望があればサテライトオフィスとオンラインでつなぎサテライトオフィスからも参加できるようにしている

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
参加家族	10		14	13			30	16	12	13	7	19	134
人数	12		16	16			37	18	14	17	8	30	168

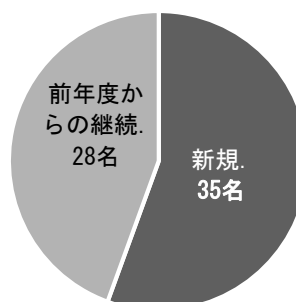
【参加者の背景】

参加者 66名(51 家族)の内訳

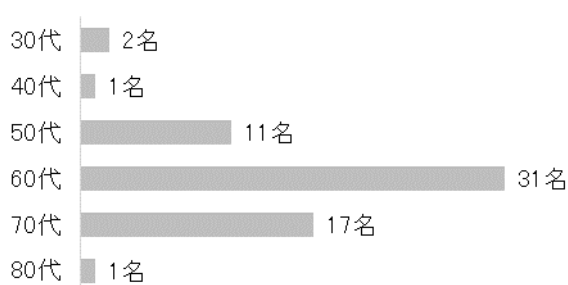
(1) 参加者と本人の続柄



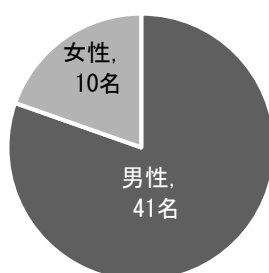
(2) 参加の経路



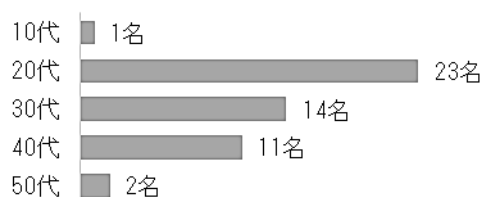
(3) 参加者(家族)の年代



(4) 本人の性別



(5) 本人の年代



【参加者アンケートから一部抜粋】

- ・同じ悩みを持つ親同士が集まる時間は必要だなと思いました。
- ・他のご家族の話聞き、色々考える機会となりました。
- ・自分自身に少し心のゆとりが出来たように思います。
- ・今までは、過去のことでばかり思い出して悲しんでいましたが、これからは、今できることを考えて行動していこうと思いました。
- ・子どもと向き合いたいが、私の一言が余計にひきこもらせることにならないかと心配で言葉がかけられない。
- ・親は子どものことを分かっているつもりでも、実は分かっていない部分がいっぱいあるのだと気づきました。
- ・良い声かけには、練習が大事だと気づいた。忘れてしまうので、また声かけの練習をして欲しい。
- ・本人が安心できる場所を大切にしたいと思います。

5 情報発信

ひきこもりに関する情報発信を行い、関係機関や地域住民等への情報発信を行った。

(1)ひきこもりを理解するためのチラシを新たに作成し、関係機関に配架依頼する等広く周知した。

(2)事業報告書を作成し、関係機関に配布した。

(3)ひきこもりサポーターの活動促進のため、サポーター事業についてのメッセージ動画を作成し、ホームページや配布資料等に QR コードを掲載し、視聴啓発を行った。(下記が動画の QR コード)

① ひきこもりサポーターの活動



② ひきこもりサポーターからメッセージ



③ 福岡県の取組・支援スタッフの紹介



6 普及啓発

他機関からの依頼に応じて、ひきこもり地域支援センターの役割等についての講話等を実施し、普及啓発を行った。

日付	対象機関	内容等	参加者数
10月13日	大川市民生児童委員協議会 民生部会研修会	講話、事例紹介	21名
10月14日	大木町介護支援専門員連絡会	講話、事例の紹介	26名
10月14日	糸島市地域包括支援センター・社会福祉部会	講話、事例紹介	40名
12月14日	篠栗町民生児童委員協議会	講話、事例紹介	37名
令和4年 1月29日	築上町住民福祉講座	講話、事例紹介	14名

IV 参考資料

資料1

令和3年度 福岡県ひきこもり地域支援センターの相談状況

資料2

福岡県ひきこもり地域支援センターの過去10年間の相談状況

資料3

各事業のチラシ

令和3年度 福岡県ひきこもり支援センター相談状況

I 実績：令和3年4月～令和4年3月
ひきこもり地域支援センター、筑豊及び筑後サテライトオフィス

I-1 相談件数 (延件数(実件数))

	電話		オンライン		来所		訪問		同行		計	
	延件数	実件数	延件数	実件数	延件数	実件数	延件数	実件数	延件数	実件数	延件数	実件数
件数	3,607	611	8	2	746	207	141	37	178	76	4,680	933

I-2 本人について

(1)性別 (実件数)

	電話	オンライン	来所	訪問	同行	計
男性	422	2	159	20	48	651
女性	148	0	48	17	28	241
不明	41	0	0	0	0	41
計	611	2	207	37	76	933

(2)年代 (実件数)

	電話	オンライン	来所	訪問	同行	計
18歳未満	58	0	10	3	5	76
18歳以上～20歳未満	23	0	8	2	4	37
20歳代	156	2	81	6	17	262
30歳代	122	0	49	7	15	193
40歳代	104	0	44	11	22	181
50歳以上	69	0	15	8	13	105
不明	79	0	0	0	0	79
計	611	2	207	37	76	933

(3)ひきこもりの範囲 (実件数)

	電話	オンライン	来所	訪問	同行	計
① 自室からほとんど出ない	24	0	10	3	7	44
② 自室からは出るが、家からは出ない	103	0	37	17	16	173
③ 近所のコンビニなどには出かける	94	1	50	11	19	175
④ 自分の趣味に関する用事の時だけ外出する	36	1	23	3	7	70
⑤ ①～④までのいずれにも該当しない	135	0	77	2	19	233
⑥ 不明(聴取不可)	219	0	10	1	8	238
計	611	2	207	37	76	933

I-3 相談人数

	電話		オンライン		来所 ※1		訪問		同行		計	
	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数
家族	1,378	315	12	3	566	198	114	39	88	40	2,158	595
本人	782	111	3	0	321	56	128	25	63	20	1,297	212
関係機関	1,391	141	0	0	56	24	54	14	216	102	1,717	281
その他※2	44	30	0	0	4	3	0	0	1	1	49	34
不明	17	14	0	0	0	0	0	0	0	0	17	14
計	3,612	611	15	3	947	281	296	78	368	163	5,223	1,133

※1 複数人の来所により、来所実数と異なる

※2 その他内訳:親類、友人、知人等からの相談

I-4 相談内容

(1) 電話相談

(延件数/複数回答)

	家族	本人	関係機関	その他※1	不明	合計
対応方法について	211	31	68	17	2	329
精神的な悩み全般	59	129	2	6	1	197
将来(今後)について	78	45	25	4	0	152
精神疾患等の病気について	44	22	10	2	0	78
就労について	56	52	67	3	0	178
就学について	15	0	9	1	0	25
対人関係について	3	15	0	1	1	20
家族関係について	132	63	23	11	0	229
経済問題について	25	11	3	3	0	42
社会資源紹介	74	47	44	9	1	175
問い合わせ	324	135	396	16	14	885
現状報告	593	447	143	8	0	1,191
予約受付	322	164	184	4	0	674
事例に係る業務連絡	26	5	644	1	0	676
その他	220	31	6	0	0	257
計	2,182	1,197	1,624	86	19	5,108

※1その他内訳:親類、友人、知人等からの相談

(2) 来所相談

(延件数/複数回答)

	家族	本人	関係機関	その他※1	不明	合計
対応方法について	212	23	6	1	0	242
精神的な悩み全般	73	82	0	0	0	155
将来(今後)について	126	91	2	1	0	220
精神疾患等の病気について	31	8	0	0	0	39
就労について	73	99	4	1	0	177
就学について	10	4	0	0	0	14
対人関係について	18	25	0	0	0	43
家族関係について	117	61	2	1	0	181
経済問題について	27	12	0	0	0	39
社会資源紹介	45	43	3	0	0	91
問い合わせ	4	1	0	0	0	5
現状報告	171	173	10	0	0	354
予約受付	3	0	0	0	0	3
事例に係る業務連絡	0	1	13	0	0	14
センター事業 ※2	142	72	0	0	0	214
その他	3	6	0	0	0	9
計	1,055	701	40	4	0	1,800

※1その他内訳:親類、友人、知人等からの相談

※2:家族のつどい、フリースペース

I - 5 年代別居住地

(1) 電話相談

(実件数)

	本人住所	18歳未満	18歳以上	20代	30代	40代	50代以上	不明	合計
政令都市等	北九州市	0	0	2	1	0	1	2	6
	福岡市	8	4	18	12	12	7	19	80
	久留米市	9	7	15	9	16	6	5	67
筑紫	筑紫野市	2	0	5	7	3	5	1	23
	春日市	5	1	7	12	3	6	2	36
	大野城市	1	0	9	7	5	3	3	28
	那珂川市	0	0	5	0	1	2	0	8
	太宰府市	0	0	6	5	3	2	2	18
京築	築上町	0	0	1	0	0	0	0	1
	行橋市	0	0	3	2	2	0	1	8
	苅田町	2	0	2	1	1	1	1	8
	みやこ町	0	0	0	0	0	0	0	0
	豊前市	0	0	1	1	1	1	0	4
	吉富町	0	0	1	0	0	0	0	1
	上毛町	0	0	0	0	0	0	1	1
嘉穂・鞍手	鞍手町	0	0	0	0	1	0	0	1
	直方市	0	0	0	3	1	2	0	6
	嘉麻市	1	0	3	0	0	2	1	7
	飯塚市	3	1	6	3	3	5	0	21
	宮若市	2	1	1	2	1	0	0	7
	小竹町	0	0	0	0	0	0	0	0
糸島市	桂川町	2	0	0	0	2	0	1	5
	糸島市	0	0	3	3	2	1	1	10
粕屋	志免町	3	0	0	2	0	1	0	6
	宇美町	0	0	3	2	2	1	0	8
	須恵町	0	0	3	3	0	0	0	6
	新宮町	0	0	0	3	0	0	0	3
	粕屋町	0	0	4	1	0	1	1	7
	古賀市	0	0	1	2	2	0	0	5
	久山町	0	0	0	0	0	1	0	1
	篠栗町	1	0	1	0	0	0	0	2
宗像・遠賀	福津市	0	0	4	1	0	1	0	6
	岡垣町	0	0	0	0	0	1	1	2
	宗像市	0	0	0	2	1	2	0	5
	中間市	0	0	0	0	1	0	0	1
	芦屋町	0	0	0	1	1	0	0	2
	水巻町	0	0	0	0	0	0	0	0
	遠賀町	1	0	1	1	0	0	1	4
	田川市	1	0	3	4	4	2	0	14
田川	香春町	0	0	0	0	3	0	1	4
	福智町	2	1	0	0	0	0	0	3
	糸田町	0	0	0	1	1	3	0	5
	赤村	0	0	0	0	0	0	0	0
	大任町	0	0	0	0	0	0	0	0
	川崎町	1	0	1	2	0	0	0	4
	添田町	0	0	0	0	2	0	0	2
	朝倉市	0	0	2	3	0	1	0	6
北筑後	筑前町	1	0	2	0	3	0	1	7
	東峰村	0	0	0	1	0	0	0	1
	うきは市	0	0	0	1	1	0	1	3
	大刀洗町	0	0	0	0	0	0	0	0
	小郡市	0	2	11	6	0	3	0	22
南筑後	柳川市	0	1	5	1	1	0	2	10
	八女市	2	0	4	2	4	0	0	12
	みやま市	0	0	7	0	5	1	1	14
	大川市	0	0	2	3	2	0	0	7
	筑後市	0	0	3	2	3	0	1	9
	広川町	1	0	0	1	0	0	0	2
	大木町	0	0	1	1	2	0	0	4
その他	大牟田市	0	1	4	3	5	3	2	18
	他県	2	1	6	2	1	0	2	14
	不明	8	3	0	3	3	4	25	46
合計		58	23	156	122	104	69	79	611

(2)オンライン相談

(実件数)

	本人住所	18歳未満	18歳以上	20代	30代	40代	50代以上	不明	合計
政令都市等	北九州市	0	0	0	0	0	0	0	0
	福岡市	0	0	0	0	0	0	0	0
	久留米市	0	0	0	0	0	0	0	0
筑紫	筑紫野市	0	0	0	0	0	0	0	0
	春日市	0	0	1	0	0	0	0	1
	大野城市	0	0	0	0	0	0	0	0
	那珂川市	0	0	0	0	0	0	0	0
	太宰府市	0	0	0	0	0	0	0	0
京築	築上町	0	0	0	0	0	0	0	0
	行橋市	0	0	0	0	0	0	0	0
	苅田町	0	0	0	0	0	0	0	0
	みやこ町	0	0	0	0	0	0	0	0
	豊前市	0	0	0	0	0	0	0	0
	吉富町	0	0	0	0	0	0	0	0
	上毛町	0	0	0	0	0	0	0	0
嘉穂・鞍手	鞍手町	0	0	0	0	0	0	0	0
	直方市	0	0	0	0	0	0	0	0
	嘉麻市	0	0	0	0	0	0	0	0
	飯塚市	0	0	0	0	0	0	0	0
	宮若市	0	0	0	0	0	0	0	0
	小竹町	0	0	0	0	0	0	0	0
	桂川町	0	0	0	0	0	0	0	0
糸島市	糸島市	0	0	1	0	0	0	0	1
粕屋	志免町	0	0	0	0	0	0	0	0
	宇美町	0	0	0	0	0	0	0	0
	須恵町	0	0	0	0	0	0	0	0
	新宮町	0	0	0	0	0	0	0	0
	粕屋町	0	0	0	0	0	0	0	0
	古賀市	0	0	0	0	0	0	0	0
	久山町	0	0	0	0	0	0	0	0
	篠栗町	0	0	0	0	0	0	0	0
宗像・遠賀	福津市	0	0	0	0	0	0	0	0
	岡垣町	0	0	0	0	0	0	0	0
	宗像市	0	0	0	0	0	0	0	0
	中間市	0	0	0	0	0	0	0	0
	芦屋町	0	0	0	0	0	0	0	0
	水巻町	0	0	0	0	0	0	0	0
	遠賀町	0	0	0	0	0	0	0	0
	田川市	0	0	0	0	0	0	0	0
田川	香春町	0	0	0	0	0	0	0	0
	福智町	0	0	0	0	0	0	0	0
	糸田町	0	0	0	0	0	0	0	0
	赤村	0	0	0	0	0	0	0	0
	大任町	0	0	0	0	0	0	0	0
	川崎町	0	0	0	0	0	0	0	0
	添田町	0	0	0	0	0	0	0	0
	朝倉市	0	0	0	0	0	0	0	0
北筑後	筑前町	0	0	0	0	0	0	0	0
	東峰村	0	0	0	0	0	0	0	0
	うきは市	0	0	0	0	0	0	0	0
	大刀洗町	0	0	0	0	0	0	0	0
	小郡市	0	0	0	0	0	0	0	0
	柳川市	0	0	0	0	0	0	0	0
南筑後	八女市	0	0	0	0	0	0	0	0
	みやま市	0	0	0	0	0	0	0	0
	大川市	0	0	0	0	0	0	0	0
	筑後市	0	0	0	0	0	0	0	0
	広川町	0	0	0	0	0	0	0	0
	大木町	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	大牟田市	0	0	0	0	0	0	0	0
	他県	0	0	0	0	0	0	0	0
	不明	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		0	0	2	0	0	0	0	2

(3)来所相談

(実件数)

	本人住所	18歳未満	18歳以上	20代	30代	40代	50代以上	不明	合計
政令都市等	北九州市	0	0	0	0	0	0	0	0
	福岡市	0	1	1	1	1	0	0	4
	久留米市	2	1	9	3	6	1	0	22
筑紫	筑紫野市	0	0	3	3	3	2	0	11
	春日市	3	1	9	6	0	1	0	20
	大野城市	0	0	5	3	4	0	0	12
	那珂川市	0	0	3	0	1	1	0	5
	太宰府市	0	0	4	3	3	0	0	10
京築	築上町	0	0	0	0	1	0	0	1
	行橋市	0	0	1	1	1	0	0	3
	苅田町	0	0	2	0	0	0	0	2
	みやこ町	0	0	0	0	0	0	0	0
	豊前市	0	0	0	0	0	0	0	0
	吉富町	0	0	0	0	0	0	0	0
	上毛町	0	0	0	0	0	0	0	0
嘉穂・鞍手	鞍手町	0	0	0	0	0	0	0	0
	直方市	0	0	0	0	0	0	0	0
	嘉麻市	0	0	2	0	0	0	0	2
	飯塚市	1	1	4	1	1	2	0	10
	宮若市	0	1	1	1	0	0	0	3
	小竹町	0	0	0	0	0	0	0	0
糸島市	桂川町	2	0	0	0	2	0	0	4
	糸島市	0	0	2	3	0	1	0	6
粕屋	志免町	0	0	0	1	0	1	0	2
	宇美町	0	0	1	1	2	1	0	5
	須恵町	0	0	1	1	0	0	0	2
	新宮町	0	0	0	2	0	0	0	2
	粕屋町	0	0	2	1	0	0	0	3
	古賀市	0	0	1	0	0	0	0	1
	久山町	0	0	0	0	0	0	0	0
	篠栗町	0	0	1	0	0	0	0	1
宗像・遠賀	福津市	0	0	2	1	0	0	0	3
	岡垣町	0	0	0	0	0	0	0	0
	宗像市	0	0	0	0	1	1	0	2
	中間市	0	0	0	0	0	0	0	0
	芦屋町	0	0	0	1	0	0	0	1
	水巻町	0	0	0	0	0	0	0	0
	遠賀町	0	0	0	1	0	0	0	1
田川	田川市	0	0	2	1	4	1	0	8
	香春町	0	0	0	0	3	0	0	3
	福智町	1	1	0	0	0	0	0	2
	糸田町	0	0	0	1	1	1	0	3
	赤村	0	0	0	0	0	0	0	0
	大任町	0	0	0	0	0	0	0	0
	川崎町	0	0	1	1	0	0	0	2
	添田町	0	0	0	0	0	0	0	0
北筑後	朝倉市	0	0	2	1	0	0	0	3
	筑前町	0	0	0	0	1	0	0	1
	東峰村	0	0	0	0	0	0	0	0
	うきは市	0	0	0	0	0	0	0	0
	大刀洗町	0	0	0	0	0	0	0	0
	小郡市	0	1	6	4	0	2	0	13
南筑後	柳川市	0	0	4	1	1	0	0	6
	八女市	0	0	1	1	1	0	0	3
	みやま市	0	0	2	0	1	0	0	3
	大川市	0	0	1	0	1	0	0	2
	筑後市	0	0	2	1	1	0	0	4
	広川町	1	0	0	1	0	0	0	2
	大木町	0	0	1	1	1	0	0	3
その他	大牟田市	0	1	1	0	2	0	0	4
	他県 不明	0	0	4	2	1	0	0	7
合計		10	8	81	49	44	15	0	207

(4)訪問相談

(実件数)

	本人住所	18歳未満	18歳以上	20代	30代	40代	50代以上	不明	合計
政令都市等	北九州市	0	0	0	0	0	0	0	0
	福岡市	0	0	0	0	0	0	0	0
	久留米市	1	0	2	0	1	1	0	5
筑紫	筑紫野市	0	0	0	1	1	0	0	2
	春日市	0	0	0	0	0	1	0	1
	大野城市	0	0	0	0	0	0	0	0
	那珂川市	0	0	0	0	0	0	0	0
京築	太宰府市	0	0	0	0	1	0	0	1
	築上町	0	0	1	0	0	0	0	1
	行橋市	0	0	0	1	0	0	0	1
	苅田町	0	0	0	0	0	0	0	0
	みやこ町	0	0	0	0	0	0	0	0
	豊前市	0	0	0	1	1	0	0	2
	吉富町	0	0	0	0	0	0	0	0
嘉穂・鞍手	上毛町	0	0	0	0	0	0	0	0
	鞍手町	0	0	0	0	0	0	0	0
	直方市	0	0	0	0	1	1	0	2
	嘉麻市	0	0	0	0	0	1	0	1
	飯塚市	1	0	1	1	0	0	0	3
	宮若市	0	1	1	1	0	0	0	3
	小竹町	0	0	0	0	0	0	0	0
糸島市	桂川町	1	0	0	0	1	0	0	2
	糸島市	0	0	0	0	0	0	0	0
粕屋	志免町	0	0	0	0	0	1	0	1
	宇美町	0	0	0	0	0	0	0	0
	須恵町	0	0	0	0	0	0	0	0
	新宮町	0	0	0	0	0	0	0	0
	粕屋町	0	0	0	0	0	0	0	0
	古賀市	0	0	0	0	1	0	0	1
	久山町	0	0	0	0	0	0	0	0
	篠栗町	0	0	0	0	0	0	0	0
宗像・遠賀	福津市	0	0	0	1	0	0	0	1
	岡垣町	0	0	0	0	0	0	0	0
	宗像市	0	0	0	0	0	0	0	0
	中間市	0	0	0	0	0	0	0	0
	芦屋町	0	0	0	0	0	0	0	0
	水巻町	0	0	0	0	0	0	0	0
	遠賀町	0	0	0	0	0	0	0	0
田川	田川市	0	0	0	0	1	1	0	2
	香春町	0	0	0	0	0	0	0	0
	福智町	0	0	0	0	0	0	0	0
	糸田町	0	0	0	0	0	0	0	0
	赤村	0	0	0	0	0	0	0	0
	大任町	0	0	0	0	0	0	0	0
	川崎町	0	0	0	1	0	0	0	1
	添田町	0	0	0	0	0	0	0	0
北筑後	朝倉市	0	0	0	0	0	0	0	0
	筑前町	0	0	0	0	0	0	0	0
	東峰村	0	0	0	0	0	0	0	0
	うきは市	0	0	0	0	0	0	0	0
	大刀洗町	0	0	0	0	0	0	0	0
	小郡市	0	0	0	0	0	2	0	2
南筑後	柳川市	0	0	1	0	0	0	0	1
	八女市	0	0	0	0	0	0	0	0
	みやま市	0	0	0	0	2	0	0	2
	大川市	0	0	0	0	0	0	0	0
	筑後市	0	0	0	0	0	0	0	0
	広川町	0	0	0	0	0	0	0	0
	大木町	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	大牟田市	0	1	0	0	1	0	0	2
	他県 不明	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		3	2	6	7	11	8	0	37

(5)同行支援

(実件数)

	本人住所	18歳未満	18歳以上	20代	30代	40代	50代以上	不明	合計
政令都市等	北九州市	0	0	0	0	0	0	0	0
	福岡市	0	0	0	0	0	0	0	0
	久留米市	1	1	4	2	2	1	0	11
筑紫	筑紫野市	0	0	0	0	1	0	0	1
	春日市	0	0	1	0	0	1	0	2
	大野城市	0	0	0	0	0	0	0	0
	那珂川市	0	0	1	0	0	3	0	4
京築	太宰府市	0	0	0	0	0	0	0	0
	築上町	0	0	1	0	0	0	0	1
	行橋市	0	0	0	1	1	0	0	2
	苅田町	0	0	0	0	0	1	0	1
	みやこ町	0	0	0	0	0	0	0	0
	豊前市	0	0	0	1	0	0	0	1
	吉富町	0	0	0	0	0	0	0	0
嘉穂・鞍手	上毛町	0	0	0	0	0	0	0	0
	鞍手町	0	0	0	0	0	0	0	0
	直方市	0	0	0	0	0	1	0	1
	嘉麻市	0	0	0	0	0	0	0	0
	飯塚市	0	0	1	0	0	0	0	1
	宮若市	2	1	0	0	1	0	0	4
	小竹町	0	0	0	0	0	0	0	0
糸島市	桂川町	2	0	0	0	1	0	0	3
	糸島市	0	0	0	0	0	0	0	0
粕屋	志免町	0	0	0	0	0	0	0	0
	宇美町	0	0	1	0	0	0	0	1
	須恵町	0	0	0	0	0	0	0	0
	新宮町	0	0	0	0	0	0	0	0
	粕屋町	0	0	0	0	0	0	0	0
	古賀市	0	0	0	0	0	0	0	0
	久山町	0	0	0	0	0	0	0	0
	篠栗町	0	0	0	0	0	0	0	0
宗像・遠賀	福津市	0	0	0	3	0	1	0	4
	岡垣町	0	0	0	0	0	0	0	0
	宗像市	0	0	0	0	0	0	0	0
	中間市	0	0	0	0	0	0	0	0
	芦屋町	0	0	0	0	0	0	0	0
	水巻町	0	0	0	0	0	0	0	0
	遠賀町	0	0	0	1	0	0	0	1
田川	田川市	0	0	1	0	4	3	0	8
	香春町	0	0	0	0	1	0	0	1
	福智町	0	1	0	0	0	0	0	1
	糸田町	0	0	0	1	0	1	0	2
	赤村	0	0	0	0	0	0	0	0
	大任町	0	0	0	0	0	0	0	0
	川崎町	0	0	0	0	0	0	0	0
	添田町	0	0	0	0	0	0	0	0
北筑後	朝倉市	0	0	1	1	0	0	0	2
	筑前町	0	0	1	0	1	0	0	2
	東峰村	0	0	0	0	0	0	0	0
	うきは市	0	0	0	0	1	0	0	1
	大刀洗町	0	0	0	0	0	0	0	0
	小郡市	0	1	0	2	0	1	0	4
南筑後	柳川市	0	0	1	0	0	0	0	1
	八女市	0	0	1	0	0	0	0	1
	みやま市	0	0	0	0	3	0	0	3
	大川市	0	0	2	0	4	0	0	6
	筑後市	0	0	0	2	0	0	0	2
	広川町	0	0	0	1	0	0	0	1
	大木町	0	0	1	0	1	0	0	2
その他	大牟田市	0	0	0	0	1	0	0	1
	他県 不明	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		5	4	17	15	22	13	0	76

Ⅱ ひきこもり相談の本人状況(令和3年4月～令和4年3月)

1 本人について

(1)ひきこもり始めた年代

(実件数)

	電話	オンライン	来所	訪問	同行	合計
18歳未満	99	1	37	7	18	162
18歳以上	35	0	24	4	9	72
20代	158	1	90	11	26	286
30代	63	0	29	6	7	105
40代	29	0	18	7	10	64
50歳以上	15	0	3	1	0	19
不明	212	0	6	1	6	225
合計	611	2	207	37	76	933

(2)ひきこもっている期間

(実件数)

	電話	オンライン	来所	訪問	同行	合計
6か月未満	33	0	11	0	3	47
6か月～1年未満	30	0	15	6	4	55
1年～3年未満	97	1	59	8	11	176
3年～5年未満	52	0	26	3	7	88
5年～7年未満	40	0	21	4	6	71
7年～10年未満	29	1	18	1	11	60
10年以上	127	0	50	14	28	219
不明	203	0	7	1	6	217
合計	611	2	207	37	76	933

(3)最終学歴

(実件数)

	電話	オンライン	来所	訪問	同行	合計
中学在学中	20	0	1	1	1	23
中学卒業	25	0	9	1	5	40
高校在学中	37	0	12	2	6	57
高校卒業	63	0	37	6	13	119
高校中退	36	1	21	5	8	71
短期大学在学中	1	0	1	0	0	2
短期大学卒業	8	0	7	2	1	18
短期大学中退	1	0	0	1	1	3
大学在学中	6	0	5	0	0	11
大学卒業	65	1	45	7	14	132
大学中退	32	0	20	2	4	58
大学院在学中	4	0	1	0	0	5
大学院卒業	8	0	0	0	0	8
大学院中退	4	0	1	0	0	5
専門学校在学中	3	0	2	0	1	6
専門学校卒業	38	0	26	7	10	81
専門学校中退	15	0	9	3	5	32
その他	3	0	0	0	0	3
不明	242	0	10	0	7	259
合計	611	2	207	37	76	933

(4)ひきこもりのきっかけ

(実件数)

	電話	オンライン	来所	訪問	同行	合計
職場になじめなかった	68	0	41	7	9	125
病気	64	0	9	2	7	82
就職活動がうまくいかなかった	22	0	17	5	4	48
不登校	87	1	43	4	14	149
人間関係がうまくいかなかった	30	0	18	6	9	63
大学になじめなかった	11	0	11	0	2	24
受験に失敗した	11	0	1	3	3	18
その他	47	1	22	2	5	77
不明	271	0	45	8	23	347
合計	611	2	207	37	76	933

(5)援助方針とひきこもりの要因

(実件数)

		来所	オンライン	訪問	同行
第1群	一般的な精神科医療の対象となる群。 薬物療法などの生物学的治療が必要とされる ケース	19	0	3	8
第2群	何らかの発達障害を認め、発達臨床や発達支 援の観点が必要になるケース	16	0	3	8
第3群	主診断や副診断のいずれかにパーソナリティ障 害(傾向)が含まれ、個人精神療法や集団療 法、心理社会的支援が中心となるケース	29	1	2	5
不明		143	1	29	55
合計		207	2	37	76

(6)来所者の診断別件数

(実件数)

		来所	オンライン	訪問	同行
診断あり	統合失調症	4	0	1	2
	気分障害	10	0	3	4
	不安障害	11	1	1	3
	広汎性発達障害	16	0	2	6
	精神遅滞等	1	0	1	2
	パーソナリティ障害	0	0	0	1
	身体表現性障害	0	0	0	0
	その他	12	1	2	2
診断なし		153	0	27	56
不明		0	0	0	0
小計		153	0	27	56
合計		207	2	37	76

2 相談経路

(実件数/複数回答)

	電話	オンライン	来所	訪問	同行
保健福祉環境事務所、保健所	10	0	4	4	2
精神保健福祉センター	33	0	19	8	9
市町村・行政関係	36	0	8	3	17
他自治体ひきこもりセンター	13	0	2	1	1
児童相談所	0	0	0	0	0
ひきこもり民間支援団体	3	0	3	0	0
労働行政関係	3	0	1	0	0
臨床心理センター	0	0	0	0	0
医療機関	11	0	5	1	0
社会福祉関係	16	0	7	2	5
学校教育関係	10	0	3	1	2
司法警察関係	0	0	0	0	0
訪問看護	0	0	0	0	0
新聞・ラジオ・テレビ	12	0	5	2	1
チラシ・リーフレット	32	0	15	4	5
家族・友人に勧められて	23	0	16	2	5
ホームページ	72	0	44	5	14
当センター	96	2	54	4	9
その他	43	0	22	4	8
不明	213	0	11	0	3
合計	626	2	219	41	81

3 連携及び、紹介機関

(実件数/複数回答)

	電話	オンライン	来所	訪問	同行
保健福祉環境事務所、保健所	11	0	1	3	8
精神保健福祉センター	19	0	8	0	3
他自治体ひきこもりセンター	27	0	3	1	4
医療機関	47	0	3	2	5
臨床心理センター	0	0	0	0	0
発達障がい者支援センター	6	0	0	0	0
児童相談所	2	0	0	0	0
自立相談支援機関	94	0	10	5	30
社会福祉協議会	12	0	2	0	4
地域包括支援センター	15	0	0	1	3
福祉事務所(民生委員)	5	0	0	0	7
自立相談支援機関以外の市町村窓口	18	0	1	0	5
若者サポートステーション	22	0	10	0	7
障害者就業・生活支援センター	3	0	0	0	0
ハローワーク	2	0	1	0	2
その他の就労支援機関	10	0	0	0	6
学校教育関係	13	0	0	0	2
司法・警察	1	0	0	0	0
民間支援団体	11	0	3	1	0
その他	82	0	13	4	12
合計	400	0	55	17	98

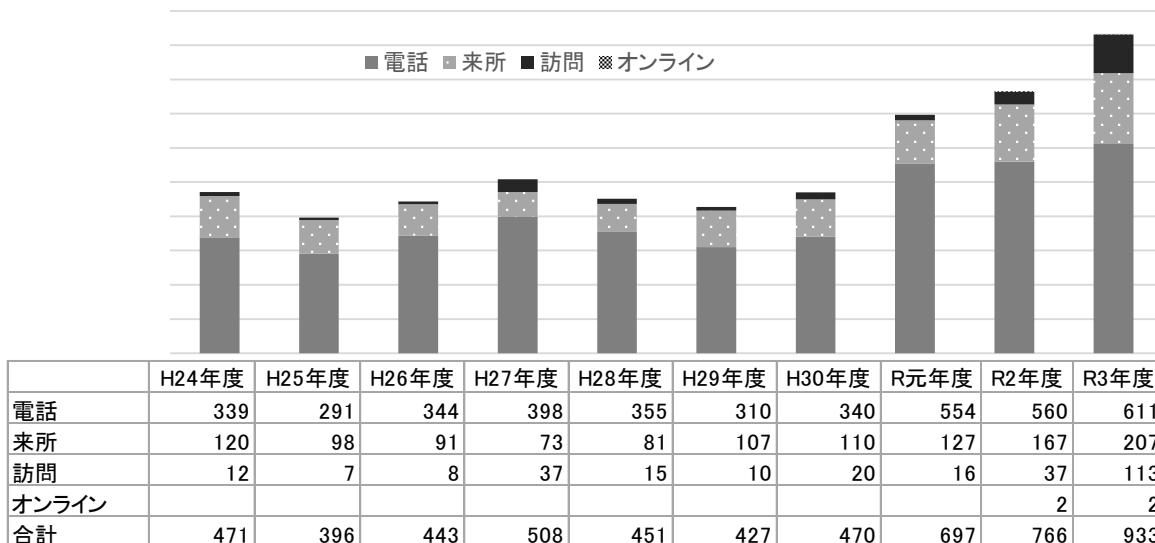
4 転帰

(実件数)

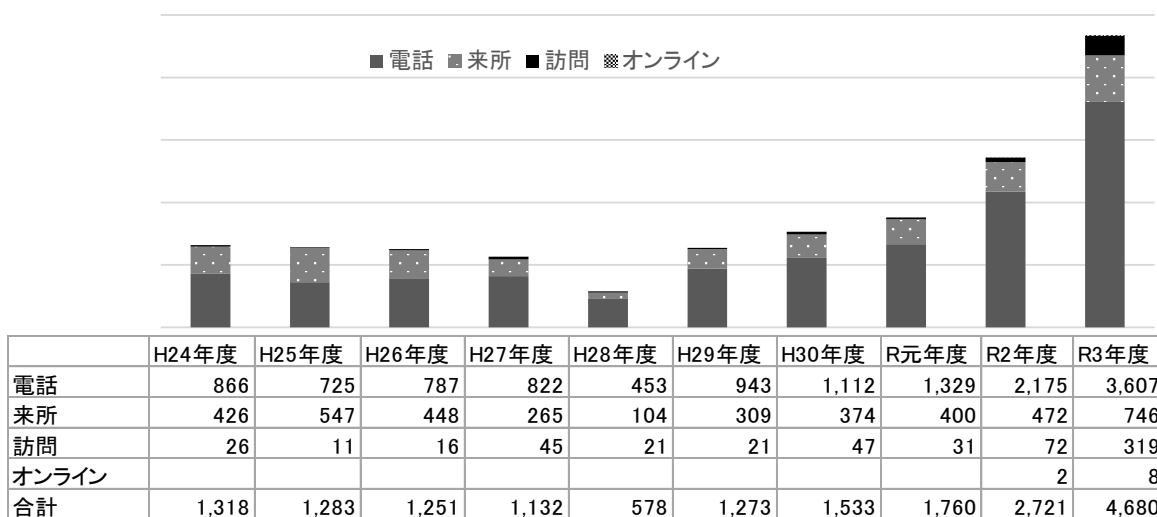
	総数
初回終了	1
センターにて継続	204
関係機関に紹介	2

福岡県ひきこもり地域支援センター 過去10年の相談状況 (平成24年4月～令和4年3月)

<相談実件数の推移>

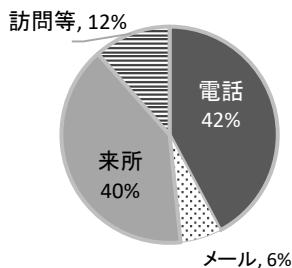


<相談延件数の推移>

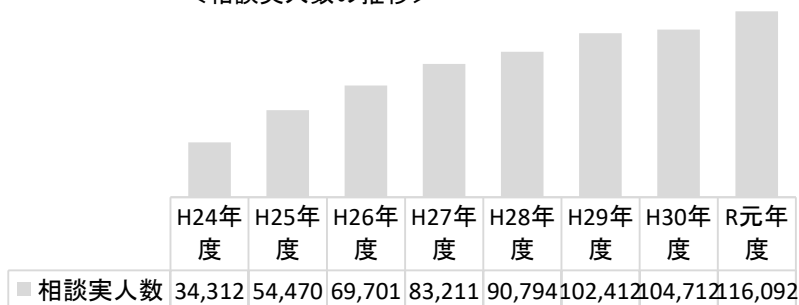


《参考》全国のひきこもり地域支援センターの状況

<相談方法の割合(R元年度)>



<相談実人数の推移>

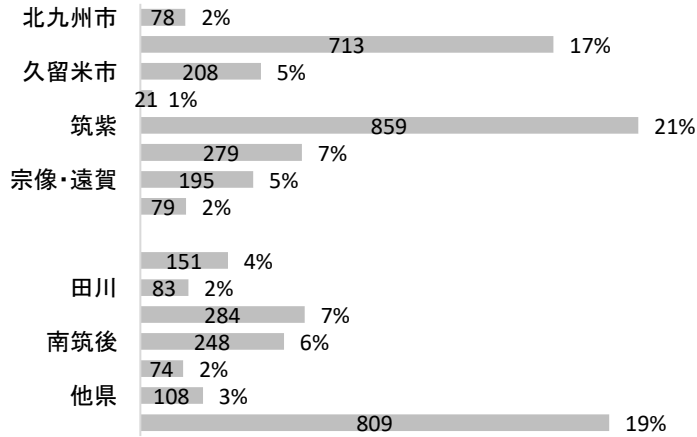


〈ひきこもり支援に関する状況調べ(平成30年度)より〉

2 居住地別の相談状況

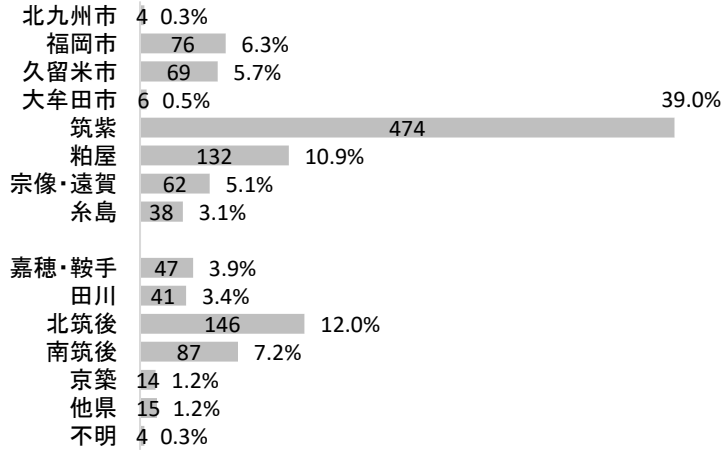
令和元年度までは福岡地域での電話相談が5割、来所相談が7割程度あったが、昨年、筑豊・筑後サテライトオフィスを開設したことで、福岡地域以外の相談件数が伸びてきている。

＜H24～R3年度 居住地別 電話相談実件数＞



地域	実件数	割合
福岡地域		
福岡市、筑紫、粕屋、宗像・遠賀、糸島	2,125	50.7%
筑豊地域		
北九州市、嘉穂・鞍手、田川、京築	386	9.2%
筑後地域		
北筑後、南筑後	761	18.2%
他県・不明	917	21.9%
合計	4,189	

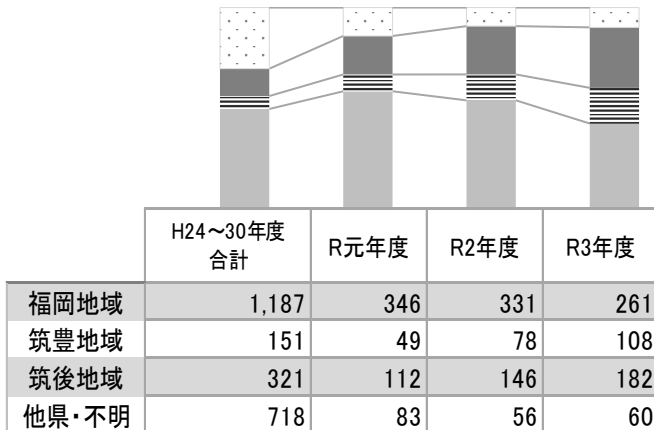
＜H24～R3年度 居住地別 来所相談実件数＞



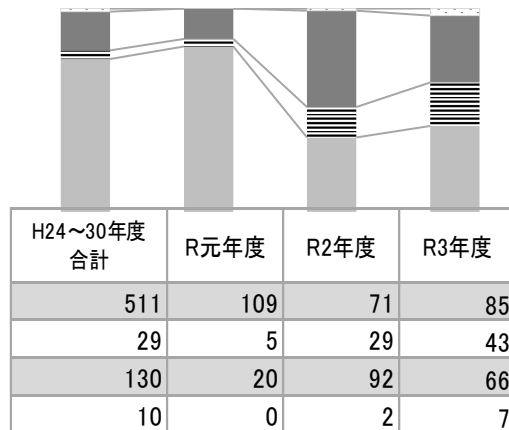
地域	実件数	割合
福岡地域		
福岡市、筑紫、粕屋、宗像・遠賀、糸島	782	64.4%
筑豊地域		
北九州市、嘉穂・鞍手、田川、京築	106	8.7%
筑後地域		
北筑後、南筑後	308	25.3%
他県・不明	19	1.6%
合計	1,215	

＜電話相談 地区別推移＞（実件数）

■福岡地域 ■筑豊地域 ■筑後地域 □他県・不明



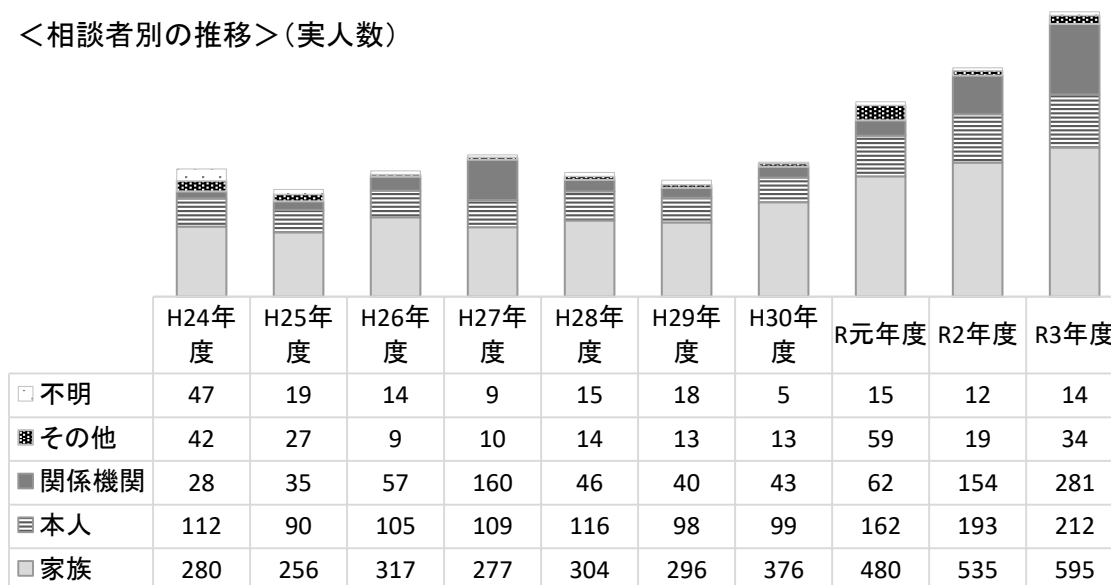
＜来所相談 地区別推移＞（実件数）



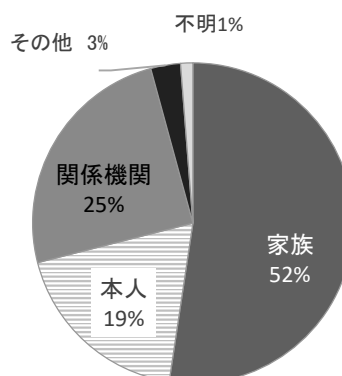
3 相談者別の推移

相談者別に見ると、家族からの相談が半数以上を占めている。本人からは2割程度である。令和2年度以降は、関係機関からの相談が増加している。

＜相談者別の推移＞（実人数）



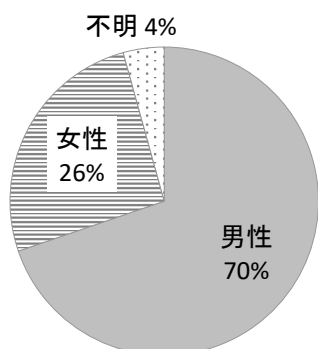
＜H24～R3年度 相談者の割合＞



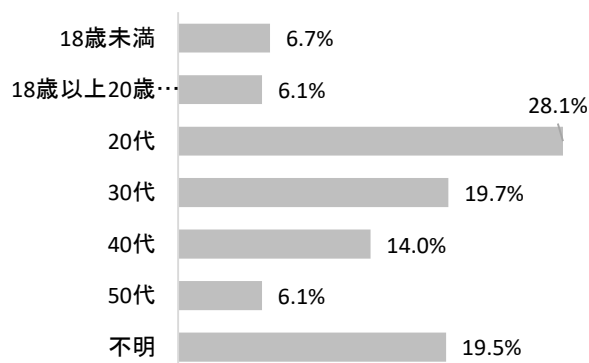
4 ひきこもり当事者の居住地別の相談状況

ひきこもり当事者は、男性が7割を占め、年代別に見ると20代が最も多く（28.1%）、次いで30代（19.7%）となっている。

＜H24～R3年度 性別割合＞（実件数）

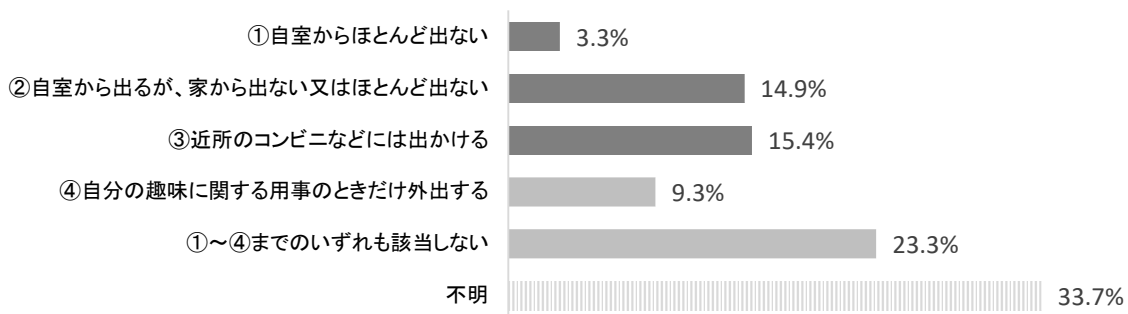


＜H24～R3年度 年代別推移＞（実件数）



5 ひきこもりの範囲

ひきこもりの範囲別では、「近所のコンビニなどには出かける」15.4%、「自室から出るが、家から出ない又はほとんど出ない」14.9%、「自分の趣味に関する用事の時だけ外出する」9.3%、「自室からほとんど出ない」3.3%の順となっている。

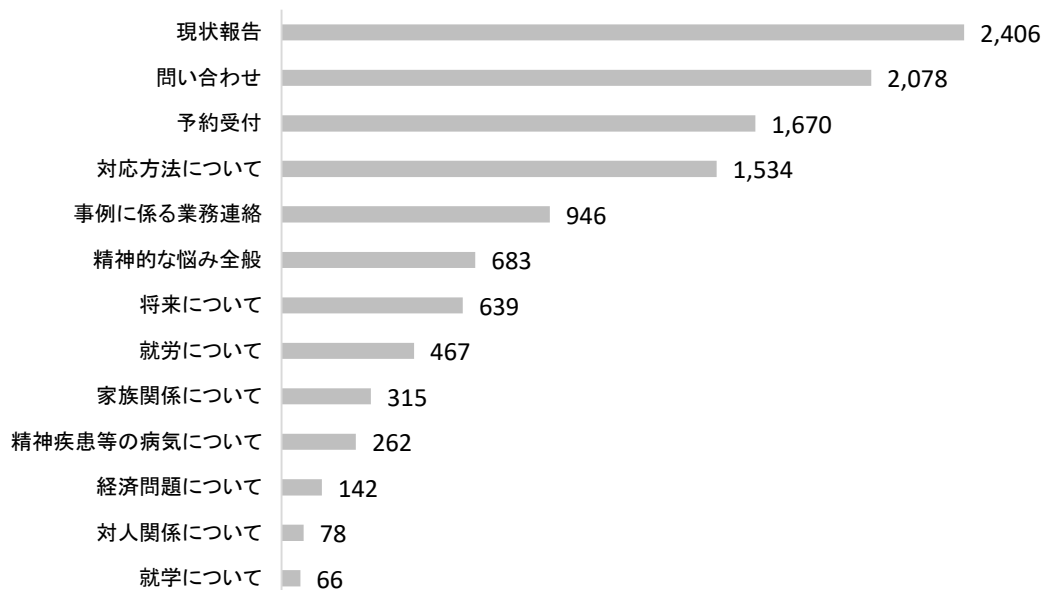


	割合	実数
① 自室からほとんど出ない	狭義のひきこもり 33.6%	168
② 自室から出るが、家から出ないまたはほとんど出ない		767
③ 近所のコンビニなどには出かける		792
④ 自分の趣味に関する用事のときだけ外出する	準ひきこもり 32.6%	479
①～④までのいずれも該当しない		1,196
不明	33.7%	1,733

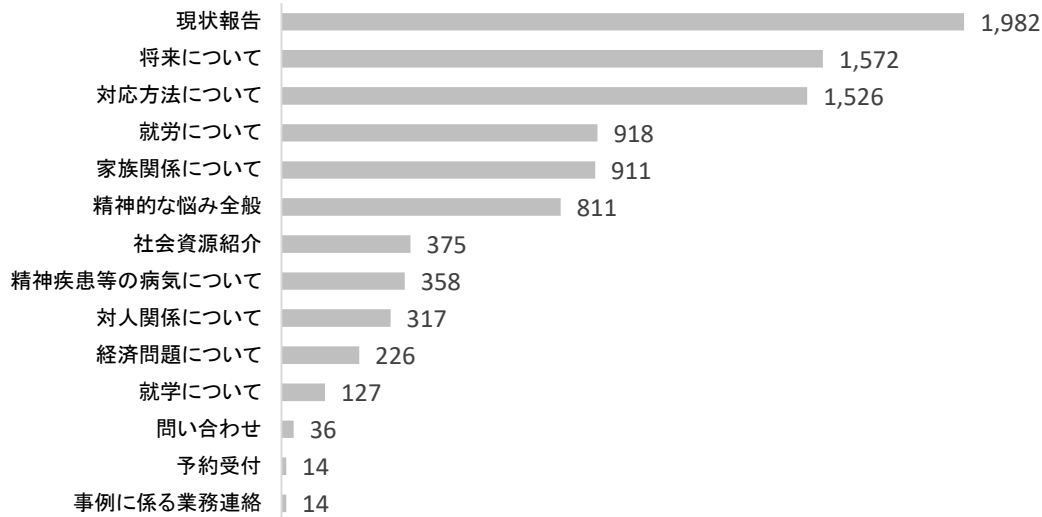
6 相談内容

相談内容は、継続相談による「現状報告」が最多となっている。相談の主旨としては、電話相談では「対応方法について」、「精神的な悩み全般」、「将来について」の順となっている。一方、来所相談では「将来について」、「対応方法について」、「就労について」の順となっている。

<電話相談の内容> (H24-R3年度 延件数/複数回答)



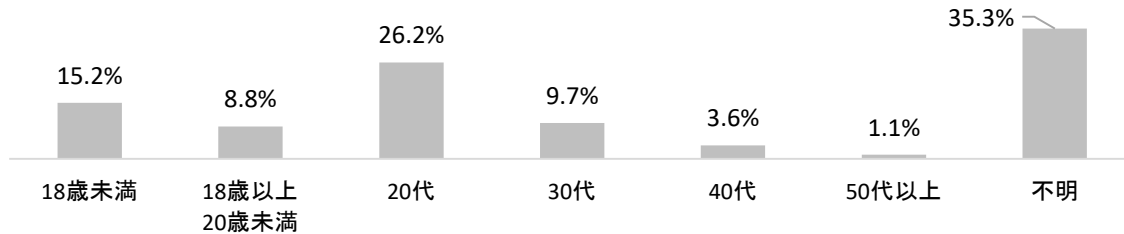
<来所相談の内容> (H24-R3年度 延件数/複数回答)



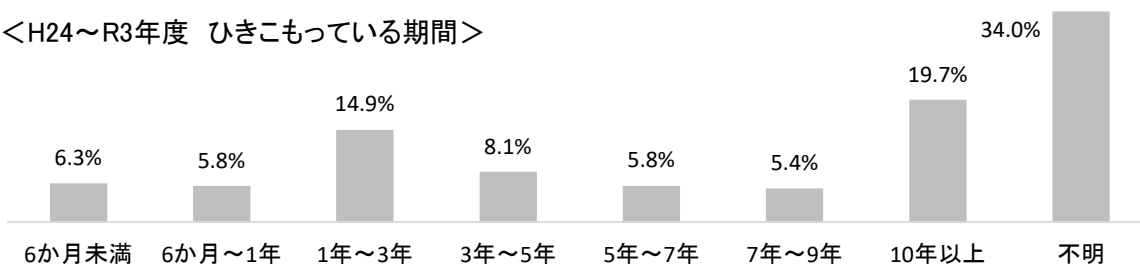
7 ひきこもりを始めた年齢・期間・きっかけ

ひきこもりをはじめた年齢は20代(26.2%)、18歳未満(15.2%)の順に多い。
 ひきこもりの期間は10年以上が2割近くを占める。次いで、1~3年(14.9%)、3~5年(8.1%)の順となっている。
 ひきこもりのきっかけは不登校(16.8%)、職場になじめなかった(11.2%)、病気(8.7%)など様々である。

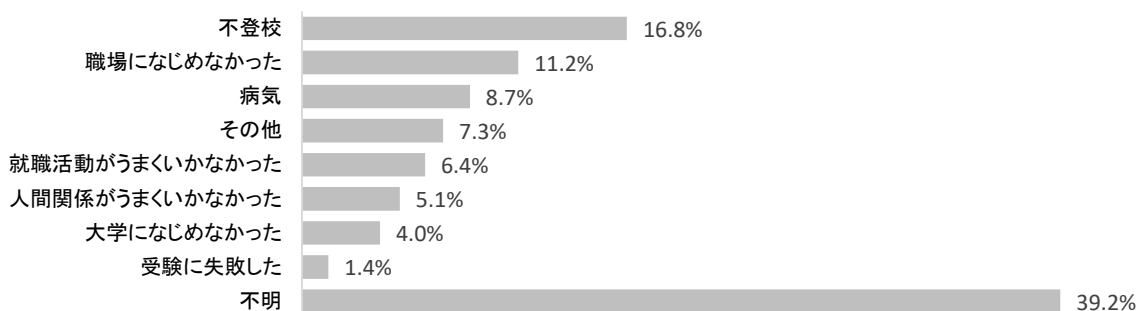
<H24~R3年度 ひきこもりを始めた年齢>



<H24~R3年度 ひきこもっている期間>



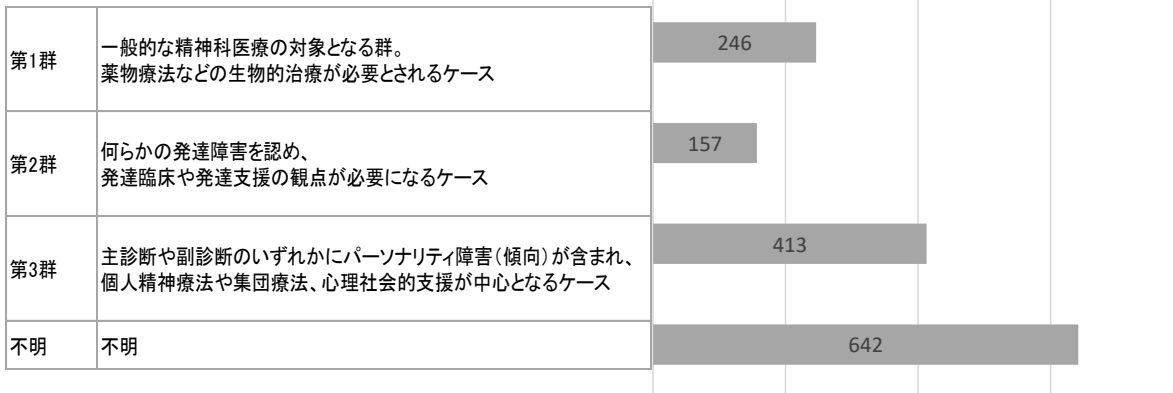
<H24~R3年度 ひきこもりのきっかけ>



8 援助方針に基づく分類と診断名

支援を方向付けるための分類(診断と支援方針に基づいた分類「ひきこもりの評価・支援に関するガイドライン」による)で見ると、パーソナリティ障害による精神療法的アプローチや社会的支援が必要になるケース(第3群)が28.3%を占める。精神科医療が中心となるケース(第1群)が16.9%、発達障がいの特徴に応じた支援が中心となるケース(第2群)が10.8%となっている。

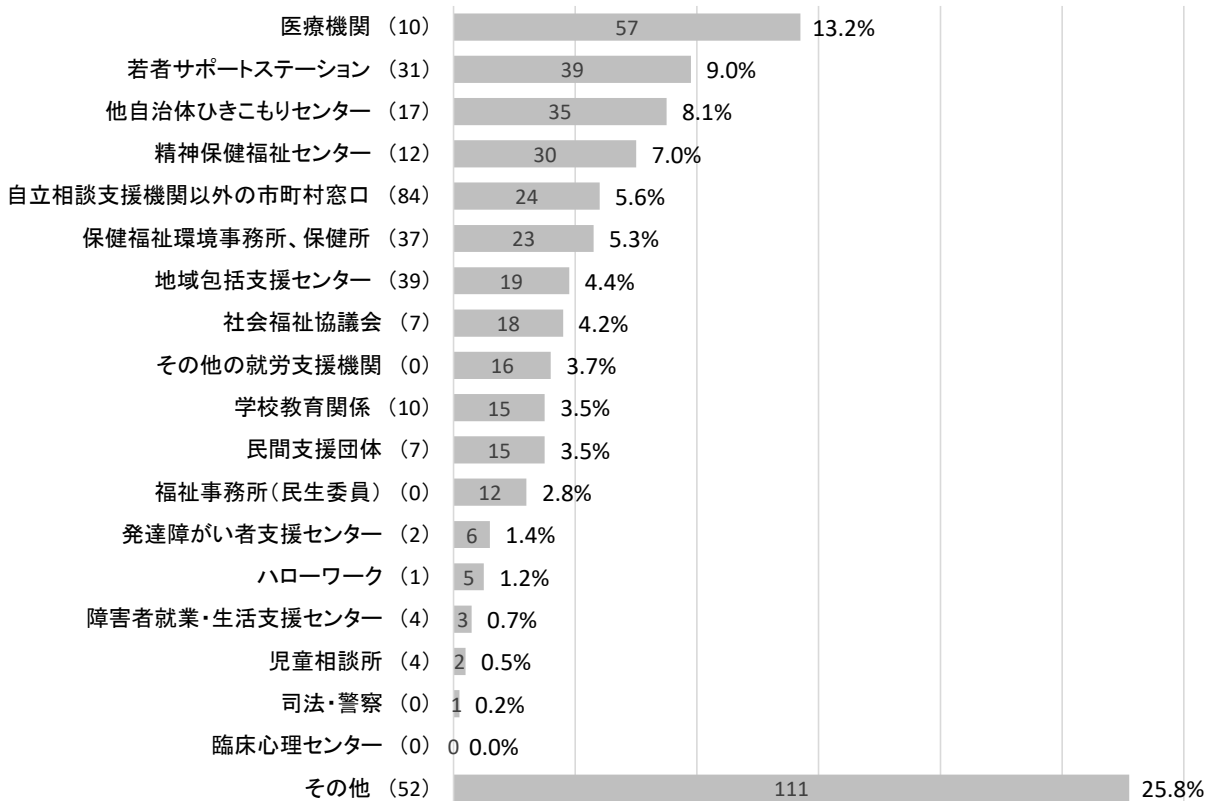
＜H24～R3年度 援助方針とひきこもりの要因＞(相談実件数)



9 連携先及び紹介機関

連携や紹介を行った機関は、医療機関(13.2%)が多く、次いで若者サポートステーション(9%)が多い。また、他自治体や政令市に居住する方からの相談の場合、他自治体のひきこもり地域支援センターへ繋ぐこともあり、紹介先の割合が高くなっている。

なお、令和2年度から機関の区分変更をしており、令和2年度との比較のため、項目の括弧内に同年度の実数を表記している。



ひきこもりで 悩んでいませんか？



ひきこもりの状態はひとりひとり違います。

ご本人やご家族だけで問題を解決することが困難な場合も多いです。

ひとりで悩まず、ぜひご相談ください。

●開設時間：月曜日～金曜日（祝日及び年末年始を除く）9：00～17：00

●相談対応：電話相談、来所相談、オンライン相談、訪問支援

（来所相談は事前にご連絡ください）

●支援内容：相談・助言、社会参加への支援、就職・就学のための情報提供等

●対象者：福岡県にお住まいの方やその家族、関係機関

福岡県ひきこもり地域支援センター

春日市原町3丁目1-7
（福岡県精神保健福祉センター内）

☎092-582-7530

【アクセス】JR春日駅から 徒歩4分
西鉄春日原駅から 徒歩12分



筑後サテライトオフィス

久留米市長門石3丁目10-34
ニューグリーンビル1階

☎0942-37-2280

【アクセス】JR久留米駅から バス8分



筑豊サテライトオフィス

田川市猪国2559
（いいかね Palette）

☎0947-45-1155

【アクセス】JR田川後藤寺駅から バス10分



サテライトオフィスは社会福祉法人グリーンコープが受託しています

センターでの活動

家族のつどい

- ～ご家族が学び、語らい、交流する場です～
- ・対象者：県内に居住するひきこもり状態にある方のご家族
- ・日時：月1回 第3金曜日 14時～16時
- ・場所：福岡県精神保健福祉センター

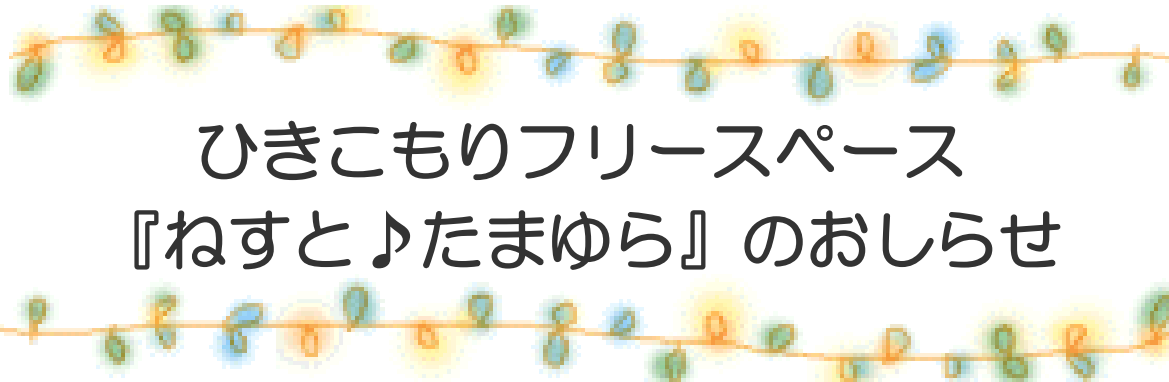
フリースペース

- ～家庭以外で安心して過ごせる場所を提供しています～
- ・対象者：県内に居住するひきこもり状態にある方
- ・日時：月2回 第2・4水曜日 14時～16時
- ・場所：福岡県精神保健福祉センター（フリースペース）

※初めて参加される方は、事前に面接をさせていただきます。まずはセンターにお問合せください。

福岡県はひきこもり状態にある就職氷河期世代を支援しています。





ひきこもりフリースペース 『ねすと♪たまゆら』のおしらせ

家から一步踏み出して、誰かと一緒に時間を過ごしてみませんか？



『ねすと♪たまゆら』は、参加されている方と一緒に考えた
フリースペースの名前です。



「ねすと」には、いこいの場、「たまゆら」には、ほんのしばらくという意味があります。
“すこしの間、安らいで過ごせる場所になってほしい”という思いで名づけました。



ぜひ一度、参加されてみませんか？
見学のみも可能です。ご連絡お待ちしております。



開催日

毎月2回の開催です。詳細は、裏面開催日程をご参照ください。
午後2時から午後4時（この間なら、いつ来られても、いつ帰られても自由です）

ねすと♪たまゆらに
お茶を飲みに来てね

無理せずあなたのペースを
大事にしてね♪

無理して話さなくても
大丈夫！



ご利用案内

- 【対象者】福岡県にお住まいの社会的ひきこもり状況にあるご本人
- 【場 所】福岡県精神保健福祉センター
〒816-0804 福岡県春日市原町3丁目1-7 南側2階
- 【費用】無料
- 【参加申込】参加ご希望の方には、事前に個別でお話をうかがいます。
まずは下記の専用電話にご連絡ください。
- 【申込先】福岡県ひきこもり地域支援センター（福岡県精神保健福祉センター内）
Tel092-582-7530



令和3年度 フリースペース開催日程

R3年	4月	14	9月	8	R4年	1月	12
		28		22			26
	5月	12	10月	13		2月	9
		26		27			24 (木)
	6月	9	11月	10		3月	9
		23		24			23
	7月	14	12月	8		/	
		28		22			
	8月	11	/				
		25					

※月2回、第2と第4水曜日の開催です。

※R4年2月は23日が祝日のため、24日(木曜日)に開催します。

令和3年度 ひきこもり家族のつどいのご案内

～ひとりで悩んでいませんか？～

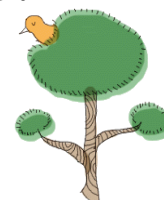
福岡県ひきこもり地域支援センターでは、社会的ひきこもり状態の方のご家族を対象に家族のつどいを開催します。ひきこもりについて正しく理解したり、言葉かけの工夫などを学んだりする時間と、参加者同士の交流の時間を用意しています。お気軽にご参加ください。

- 対象者○ 県内に居住するひきこもり状態にある方のご家族（20名程度）
 ○日 時○ 月1回 年間全12回
 毎月第3金曜日 14:00～16:00
 ○場 所○ 福岡県精神保健福祉センター 研修室 又は、フリースペース室

日	内 容
4月16日	新スタッフの紹介・1年間の計画説明・懇親会
5月21日	*中止(講話:ひきこもりの基礎知識・社会資源について)
6月18日	ひきこもり対応のヒント(1)
6月25日	講話:ひきこもりの基礎知識・社会資源について
7月16日	医師講話:ひきこもりの基礎知識と対応について
8月20日	ひきこもり対応のヒント(1)～声のかけ方・会話のポイント
9月17日	九州大学病院 加藤隆弘先生による講話(10時～12時)
10月15日	九州大学病院 加藤隆弘先生による講話 ※13時～15時
11月19日	ひきこもり対応のヒント～声のかけ方・会話のポイント
12月17日	当事者からのメッセージ
1月21日	ひきこもり対応のヒント(2) ～KHJ『楠の会』吉村氏を囲んで～
2月18日	ひきこもり対応のヒント(3)
3月18日	山口大学大学院 山根俊恵先生による講話

*プログラムの内容を一部変更しておりますので、ご確認ください。

今後も、新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、プログラム内容を変更させていただきます。変更の際には、ホームページにてお知らせいたします。



- 申込み○ ①随時、申込みを受け付けます。
 ②参加ご希望の方には、事前に個別でお話をうかがいます。

お問い合わせ・申し込み

福岡県精神保健福祉センター（ひきこもり地域支援センター）

福岡県春日市原町3丁目1-7 南側2階

TEL 092-582-7530

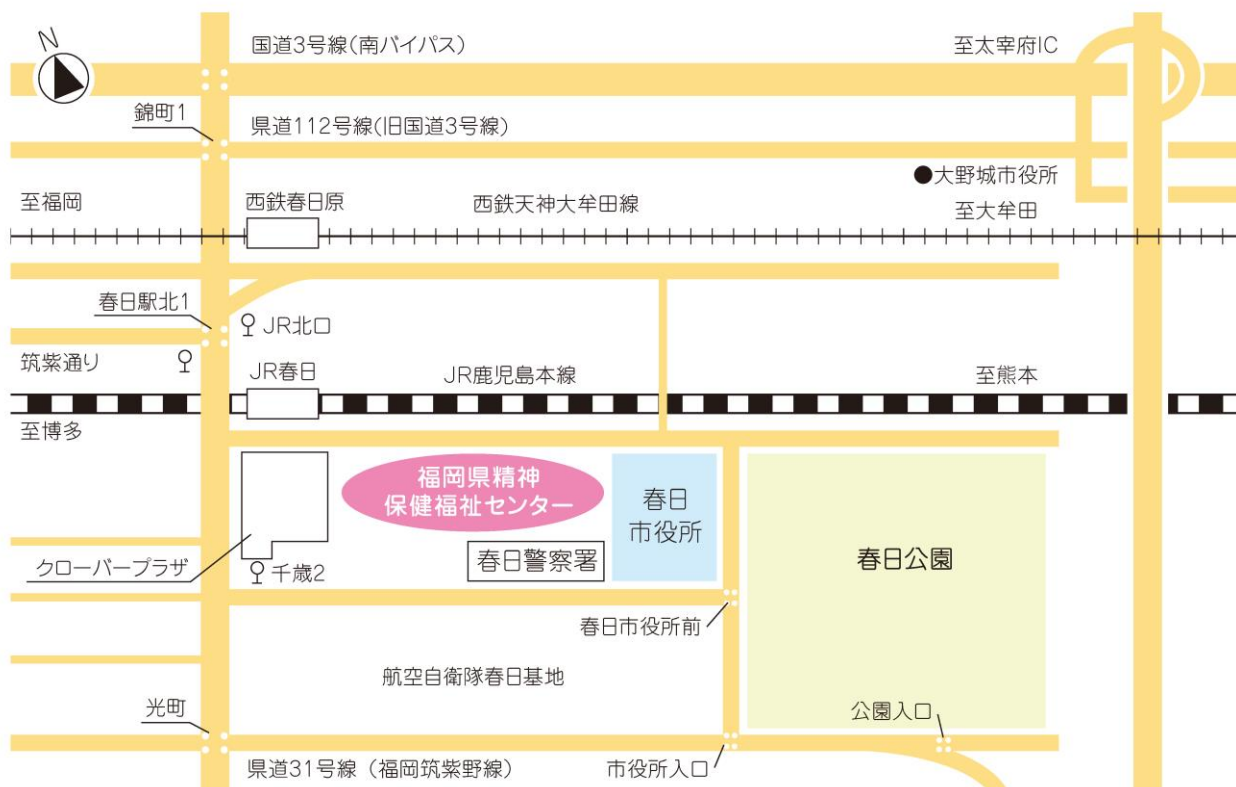
☆ 交通のご案内 ☆

JR ご利用の場合・・・JR 鹿児島本線「春日」駅から徒歩約3分

（快速列車は「春日」駅に停まりませんので、普通列車をご利用ください。）

西鉄電車ご利用の場合・・・西鉄天神大牟田線「春日原」駅から徒歩約13分

＊駐車スペースに限りがありますので、公共の交通機関での来所にご協力ください。



福岡県ひきこもり対策推進事業業務報告書

<発行日> 令和4年9月

<編集> 福岡県ひきこもり地域支援センター
福岡県精神保健福祉センター

<発行> 福岡県精神保健福祉センター

<連絡先>

〒816-0804

福岡県春日市原町 3-1-7 南側 2F

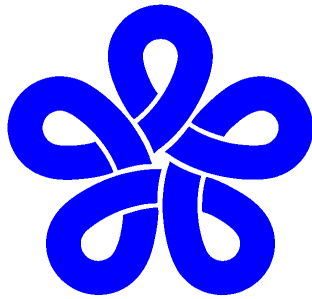
福岡県ひきこもり地域支援センター（福岡県精神保健福祉センター内）

TEL 092-582-7530 FAX 092-582-7505

<ホームページ>

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/houkokushoreiwa3.html>





福岡県行政資料	
分類記号	所属コード
GD	4404407
登録年度	登録番号
R4	0001